

世界の頂点へ



第42回

THE 42nd OITA INTERNATIONAL WHEELCHAIR MARATHON



大分国際車いすマラソン

2023.11.19 SUN 10:00 START!

MEMORIAL BOOK 大会記念誌



第42回 大分国際車いすマラソン 大会会長
大分県知事

佐藤樹一郎
SATO KIICHIRO

大会会長あいさつ

昭和56(1981)年の国際障害者年に世界初の車いす単独のマラソンレースとしてスタートした「大分国際車いすマラソン」は、令和5(2023)年11月19日に第42回大会を盛大に開催することができました。

新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行となり、外国人選手とこどもたちとの交流会や開会式後のパレードでの市民とのふれあいなど、大分ならではのおもてなしが4年ぶりに復活した大会となりました。

レース当日は、爽やかな秋晴れの下、海外15か国から45名、国内29都道府県から143名、合計188名の選手が自らの限界に挑戦し、176名が完走を果たしました。

マラソン男子、最速クラスのT34/53/54では、マルセル・フグ選手が序盤から圧倒的なスピードで独走し、5連覇、通算11度目の優勝を飾りました。自身のもつ世界記録までわずか4秒という好タイムでした。

また、T33/52クラスでは、上与那原寛和選手が4年ぶり4回目の優勝、最も障がいの重いT51クラスでは、ピーター・ドゥ・プレア選手が、危なげない走りで、7連覇を達成しました。

マラソン女子でも T34/53/54クラスで、カテリーヌ・デブルナー選手、マニュエラ・シャー選手、スザンナ・スカロニ選手が白熱した先頭争いを繰り広げ、ゴール直前にカテリーヌ・デブルナー選手が僅差で2選手をかわし、初出場での優勝を飾るなど、世界最高峰の車いすマラソンにふさわしいレースが各クラスで展開されました。

沿道などで熱い声援を送ってくださった皆様をはじめ、大会運営にご協力いただいた企業や団体、医療関係者、ボランティアなど、多くの方々のご支援に改めて感謝申し上げます。

結びに、この大会が積み重ねてきた感動の歴史の重みを糧としながら、スポーツのもたらす力を「OITA」の地から世界へ力強く発信していくとともに、障がいの有無や国籍、文化の違いを超え、誰もが心豊かに暮らすことのできる共生社会の実現に取り組む決意を新たに、発刊のあいさつとします。



優勝の瞬間 マラソン

マラソン男子 T34/53/54 優勝



マルセル・フグ

スイス

MARCEL E. HUG / SWITZERLAND

1° 17' 51"



スタート後3kmすぎから抜け出し、独走状態のままゴールテープを切った。今回の優勝で「大分国際車いすマラソン」は5連覇。回数にすると11度目の優勝。世界記録保持者に相応しい貫禄の走りで、自身の持つ記録までわずか4秒という好タイムを記録した。円熟味を増してきたその走りは、まさに絶対王者。

マラソン男子 T33/52 優勝



上与那原 寛和

うえよなばる ひろかず

沖縄県

UEYONABARU HIROKAZU / OKINAWA

1° 54' 30"



東京2020パラリンピック競技大会銅メダリスト上与那原寛和が、金メダリストで前回優勝の佐藤友祈との日本人対決を制して4年ぶり4度目の優勝。52歳のレジェンドレーサーが日々の鍛錬を積み重ねて実現した快走は、観ている人たちに多くの勇気と感動を与えた。



マラソン女子 T34/53/54 優勝



カテリーヌ・デブルナー
スイス

CATHERINE DEBRUNNER / SWITZERLAND

1° 35' 11"



今季行われた世界6大会で3勝のデブルナー、当大会6度の優勝のシャー、アメリカのエース、スカロニの3人がしのぎを削る大熱戦はゴールテープを切るまで注目を集め続けた。優勝はデブルナーだったが、展開ひとつで結果が変わりそうな結末に、女子レースのレベルアップを感じる。

マラソン男子 T51 優勝



ピーター・ドゥ・プレア
南アフリカ

PIETER DU PREEZ / SOUTH AFRICA

2° 31' 07"



決して万全ではないコンディションだったという趣旨のコメントが示す通り、タイムは前回と比べ、きびしいものになったが、2位に9分以上の差をつける圧巻の走りで7連覇を達成した。勝者は周囲への感謝も欠かさない。多くの支えを力に変えて、来年のパラリンピックと当大会の連覇を目指す。

優勝の瞬間 ハーフマラソン

ハーフマラソン男子 T34/53/54 優勝

生馬 知季

いこま ともき

岡山県

IKOMA TOMOKI
OKAYAMA

0° 43' 05"

一時トップに立つものの、10kmで大きく後退。しかし最後は2位に4分差をつけて圧勝という劇的なレースで3連覇。



ハーフマラソン男子 T33/52 優勝

伊藤 竜也

いとう たつや

福井県

ITO TATSUYA
FUKUI

0° 52' 47"

2位に約16分の差をつけての大会新で3連覇。近年、国内外のレースで結果を出しているその力を遺憾なく発揮した。



ハーフマラソン男子 T51 優勝

長崎 裕也

ながさき ゆうや

東京都

NAGASAKI YUYA
TOKYO

1° 42' 09"

圧倒的な安定感で走り、道中は一人旅。円熟味を増した走りに、沿道からはたくさんの声援が飛んだ。





ハーフマラソン女子 T34/53/54 優勝

村岡 桃佳

むらおか ももか

岡山県

MURAOKA MOMOKA
OKAYAMA

0° 52' 01"

冬のパラアルペンスキー金メダリストで、夏冬のパラ
オリンピック出場経験を持つ村岡桃佳が連覇を飾った。



ハーフマラソン女子 T33/52 優勝

田中 照代

たなか てるよ

愛知県

TANAKA TERUYO
AICHI

1° 15' 15"

金メダルを取るために決して諦めないことを大切にし
ている還暦レーサー。レースを通じて、多くのメッセー
ジを伝えてくれる。



大会前行事 県民との交流事業・海外選手歓迎セレモニー・選手受付・記者会見

県民との交流事業 (海外選手と児童の交流)

11/16 [木]・17 [金]

聖公幼稚園／附属中学校／大道小学校／三佐小学校

大分市内の幼稚園・小学校では、本番を前にした交流イベントを開催。聖公幼稚園では、鍵盤ハーモニカ、ハンドベル、ダンス、跳び箱の披露などで選手たちをおもてなした。児童たちは、国籍や障がいを越えたダイバーシティなコミュニケーションを今回の体験を通じて学び、選手たちはレース中に沿道から声援をくれる児童たちとの交流を楽しんだ。



海外選手歓迎セレモニー

11/14 [火] 10:00～ レンブラントホテル大分

外国人選手第一陣の到着に合わせて行われた歓迎セレモニー。花束贈呈が行われた。



選手受付

11/18 [土] 9:00～12:00 県庁本館ロビー

感染症対策は行わなかったが、受付に来た選手たちの体調に影響を与えないよう、注意深く受付を行った。





記者会見 11/18^土 15:00~15:30 ガレリア竹町ドーム広場

大会前日、有力選手が参加しての記者会見がインタビュー形式で行われた。自身のコンディション、記録へ挑むために行ってきた取り組みから、運営やボランティアへの謝辞が語られる。明日の本番に向け、笑顔の中にも緊張感が漂う。



マルセル・フグ
MARCEL HUG

スイス



ハインツ・フライ
HEINZ FREI

スイス



佐藤 友祈
SATO TOMOKI

岡山県



喜納 翼
KINA TSUBASA

沖縄県



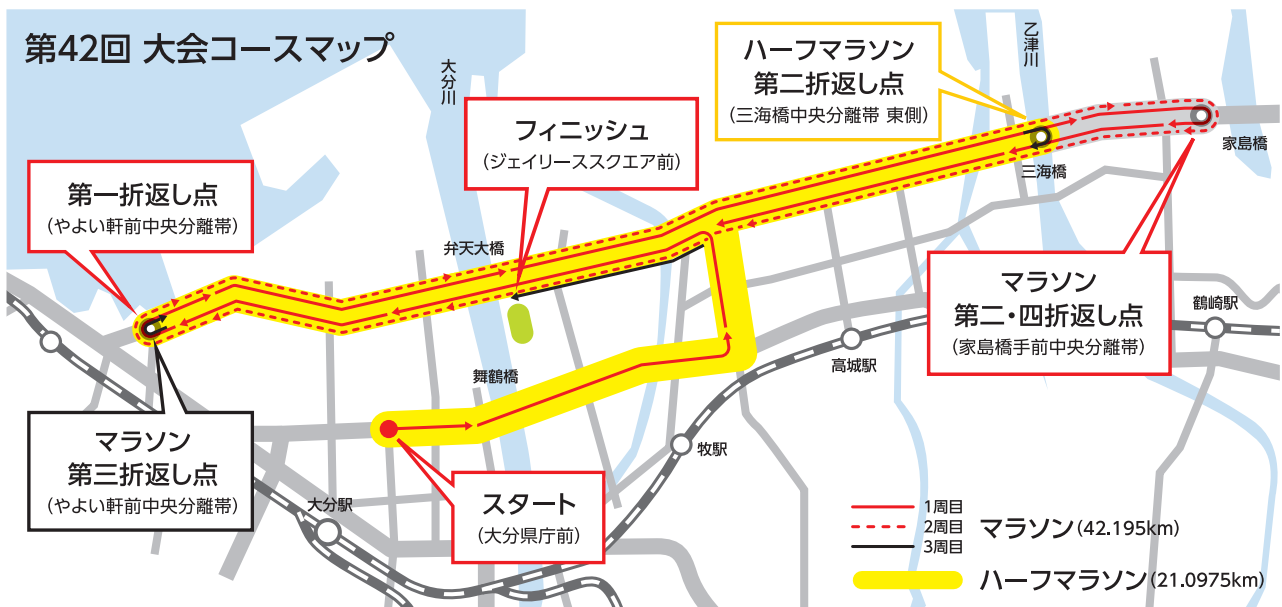
カテリーヌ・デブルナー
CATHERINE DEBRUNNER

スイス



ピーター・ドゥ・プレア
PIETER DU PREEZ

南アフリカ



開会式 オープニングイベント・開会式

オープニングイベント クロストーク

「インクルージョンが未来を拓く ～我々のチャレンジ～」

11/18^[土] 14:00～ ガレリア竹町ドーム広場

各自のチャレンジを紹介するとともに共生社会実現に向けたアイデアを語り合うクロストークが行われた。



太陽の家企業会代表
鎌田 雅仁 氏



元プロ車いすテニスプレイヤー
国枝 慎吾 氏



(株)ヘラルボニー 社長
松田 崇弥 氏



(株)ヘラルボニー 副社長
松田 文登 氏



司会進行/OBSアナウンサー
三重野 勝己 氏

開会式 11/18^[土] 16:00～ ガレリア竹町ドーム広場



大会10連覇、計14度の優勝を誇るスイスのハインツ・フライ選手による選手宣誓
大会会長である佐藤樹一郎知事、足立信也大分市長などのあいさつで大会は幕を開ける。

選手宣誓
ハインツ・フライ
HEINZ FREI



故ハインリッヒ・クーベール選手へのメッセージ台



奥様のグッドラン・クーベールさん



大会会長あいさつ/大分県知事
佐藤 樹一郎
SATO KIICHIRO



地元市長あいさつ/大分市長
足立 信也
ADACHI SHINYA



来賓あいさつ/駐日スイス大使
アンドレアス・バウム
ANDREAS BAUM

2023年4月に亡くなられた、車いすマラソン陸上(T51クラス)の先駆者として活躍されたハインリッヒ・クーベール選手の奥様も来賓し、選手や来場者とともに黙祷をささげた。



スイスフェア 蔵田真由美氏 ホルン演奏



スタート直前

天気は晴天。日中の温度はこの季節にしては高かったが、朝はやはり寒い。各選手、大分市役所周辺で入念にウォームアップを行った。





スタート

11/19 [日] 10:00～ マラソンスタート

大分県庁前



マラソン スターター 大会会長 大分県知事
佐藤 樹一郎

マラソンは大会会長の佐藤知事、ハーフマラソンは大分県障がい者スポーツ協会アンバサダーの内川聖一氏の号砲でスタート。





11/19 [日] 10:03~
ハーフマラソンスタート
大分県庁前



ハーフマラソン スターター
大分県障がい者スポーツ協会アンバサダー
内川 聖一



レース

大分市街地で繰り広げられる熱い戦い。トップレーサーの平均時速は30km/hを超える。迫力のある光景に沿道からは声援が飛ぶ。小さい子どもたちの「がんばれ」の声が選手たちの背中を押す。





レース





そしてフィニッシュへ

最後の力を振り絞ってフィニッシュへ向かう。ライバルとの戦い、そして自分自身との戦い。その姿は観る人に感動を与える。





競技場にて

最速クラスのマラソンT34/53/54男子では、今年もマルセル・フグ選手が圧勝で11度目の栄冠。コロナ禍では決して見ることができなかった握手やハグなどお互いの健闘を称えあう姿が多く見られた。大会の素晴らしさとともに、日常の尊さが感じられる素晴らしい光景。





閉会式

各クラスの優勝者への表彰と大会関係者からの感動の辞が述べられる。優勝者はもちろんだが、達成感からか、笑みがこぼれる選手の顔が印象的だった。この素晴らしい大会をいつまでも守り、発展させていきたい。



閉会あいさつ／大会会長 大分県知事
佐藤 樹一郎
SATO KIICHIRO



マラソン審判長
田崎 弘宣
TAZAKI HIRONORI



ハーフマラソン審判長
原 俊介
HARA SYUNSUKE



閉会宣言／大会実行委員長
工藤 哲史
KUDO NORIFUMI





マラソン男子
T34/53/54 優勝

マルセル・フグ
MARCEL E. HUG



マラソン女子
T34/53/54 優勝

カテリーヌ・デブルナー
CATHERINE DEBRUNNER



マラソン男子
T33/52 優勝

上与那原 寛和
UEYONABARU HIROKAZU



マラソン男子
T51 優勝

ピーター・ドゥ・プレア
PIETER DU PREEZ



ハーフマラソン男子
T34/53/54 優勝

生馬 知季
IKOMA TOMOKI



ハーフマラソン女子
T34/53/54 優勝

村岡 桃佳
MURAOKA MOMOKA



ハーフマラソン男子
T33/52 優勝

伊藤 竜也
ITO TATSUYA



ハーフマラソン女子
T33/52 優勝

田中 照代
TANAKA TERUYO



ハーフマラソン男子
T51 優勝

長崎 裕也
NAGASAKI YUYA



閉会式



大分県知事 佐藤 樹一郎



大分県福祉保健部長 工藤 哲史



大分県障がい者スポーツ協会 会長 草野 俊介



オムロン株式会社 取締役 行本 閑人



ソニーグループ株式会社 シニアアドバイザー 平井 一夫



大分市長 足立 信也



一般社団法人日本パラ陸上競技連盟 会長 増田 明美



陸上自衛隊第41普通科連隊 連隊長 小林 直基



スポーツ庁審議官 橋場 健



中村裕パラスポーツサポートミーティング 坂元 智香



大分合同新聞社 取締役 児玉 真路



新日本製薬株式会社 執行役員IT本部管掌 八坂 正弘



大分県障がい者スポーツ協会アンバサダー 内川 聖一



故ハインリッヒ・クワベール夫人 グッドラン・クワベール



入賞者 1. マラソン 男子T51・男子T33/52



入賞者 2. マラソン 女子T34/53/54・男子T34/53/54



入賞者 3. ハーフマラソン 男子T51・女子T33/52・男子T33/52



入賞者 4. ハーフマラソン 女子T34/53/54・男子T34/53/54



大会が終わって

また別の大会で顔を合わせる人もいれば、来年のこの時まで会えなくなる人も。たくさんの大会関係者に見送られ、会場を後にする選手たち。ボランティア、自衛隊、警察、運営者、そしてすべての人に感謝。



交歓の夕べ

THE 42nd OITA INTERNATIONAL
WHEELCHAIR MARATHON



11/19 [日] 18:30~20:30

レンブラントホテル大分

互いの健闘や大会を無事に終えられたことを労い合う交歓の夕べが開催された。昨年は感染症の影響を考え、規模を縮小して行ったが、今年は大規模な開催になった。



協力者・ボランティア



陸上自衛隊や大分県警をはじめ企業、団体、学校などから集まった約1600人のボランティア。大会の準備、円滑な運営、万が一の備えのために選手の約10倍の数の人が、選手を支えた。すべては選手を輝かせるため。



陸上自衛隊 別府駐屯地 第41普通科連隊



大分県警察本部交通機動隊





オムロン株式会社



オムロン株式会社



ソニーグループ株式会社



本田技研労働組合



三菱商事株式会社



株式会社デンソー



株式会社富士通エフサス



新日本製薬株式会社

協力者・ボランティア



株式会社大分銀行



大分キャノン株式会社



ジブラルタ生命保険株式会社



清水建設株式会社



全日本空輸株式会社



東京海上日動火災保険株式会社



第一生命保険株式会社



西日本電信電話株式会社



株式会社 プンゴヤ薬局



トランスコスモス株式会社



大分走ろう会



大分リハビリテーション専門学校



大分県パラスポーツ指導者協議会



楊志館高等学校



大分東明高等学校



一般財団法人 大分陸上競技協会





第42回

THE 42nd OITA INTERNATIONAL WHEELCHAIR MARATHON

大分国際車いすマラソン

資料編



マラソン クラス別順位/Rankings for Marathon in each class

●T51 男子

順位 Rank	記 録 Time	ナンバー No.	氏 名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	2° 31' 07"	60	ピーター・ドウ・プレア	43	南アフリカ
2	2° 40' 20"	72	ジョン・マッカーシー	49	アイルランド

世界記録：ピーター・ドウ・プレア (南アフリカ)
 日本記録：井上 聡 (愛媛県)
 大会記録：ピーター・ドウ・プレア (南アフリカ)

2° 22' 33" 2022 第41回大分国際
 2° 30' 32" 2006 サン・アントニオ
 2° 22' 33" 2022 第41回大分国際

●T51 女子 出走者なし

●T33/52 男子

順位 Rank	記 録 Time	ナンバー No.	氏 名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	1° 54' 30"	59	上与那原 寛和	52	沖縄県
2	1° 56' 36"	58	佐藤 友祈	34	岡山県
3	2° 05' 21"	70	サンティアゴ・サンツ	43	スペイン
4	2° 09' 54"	65	ナタン・モラレス・ベラスケス	48	メキシコ
5	2° 14' 43"	64	松本 直幸	44	福岡県
6	2° 27' 12"	71	ノバート・アンソニー・ホロワット・ジュニア	26	アメリカ

世界記録：トーマス・ガイアシュペヘラー (オーストリア)
 日本記録：上与那原 寛和 (沖縄県)
 大会記録：サンティアゴ・サンツ (スペイン)

1° 40' 07" 2008 北京パラリンピック
 1° 40' 10" 2008 北京パラリンピック
 1° 43' 46" 2007 第27回大分国際

●T33/52 女子 出走者なし

●T34/53/54 男子

順位 Rank	記 録 Time	ナンバー No.	氏 名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	1° 17' 51"	1	マルセル・フグ	37	スイス
2	1° 23' 58"	2	鈴木 朋樹	29	埼玉県
3	1° 26' 35"	14	ラ・シンデゲン	20	中国
4	1° 26' 49"	11	吉田 竜太	42	東京都
5	1° 28' 16"	5	マ・タク	23	中国
6	1° 28' 16"	3	渡辺 勝	31	福岡県
7	1° 28' 18"	8	ルイス・フランシスコ・サンクレメンテ	35	コロンビア
8	1° 28' 19"	15	樋口 政幸	44	千葉県
9	1° 28' 54"	42	岸澤 宏樹	27	東京都
10	1° 31' 12"	6	西田 宗城	39	大阪府
11	1° 31' 14"	10	洞ノ上 浩太	49	福岡県
12	1° 31' 16"	9	副島 正純	53	長崎県
13	1° 31' 16"	12	ユ・ビョンフン	51	韓国
14	1° 35' 09"	18	河室 隆一	50	大分県
15	1° 35' 17"	13	吉田 高志	45	大阪府
16	1° 39' 47"	16	マーク・ミラー	42	アイルランド
17	1° 41' 58"	27	安岡 チョーク	50	東京都
18	1° 41' 58"	20	松永 仁志	51	岡山県
19	1° 42' 19"	22	大津 圭介	56	福岡県

順位 Rank	記 録 Time	ナンバー No.	氏 名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
20	1° 42' 58"	21	武村 浩生	35	福岡県
21	1° 44' 20"	53	ブレット・マッカーサー	58	オーストラリア
22	1° 46' 56"	25	ホアキン・ガルシア・ディアス	55	スペイン
23	1° 46' 57"	29	ユン・ヒョンジェ	35	韓国
24	1° 51' 42"	23	佐藤 健	40	埼玉県
25	1° 53' 11"	4	ハインツ・フライ	65	スイス
26	1° 53' 36"	30	ンケッベ・ボッショ	44	ガーナ
27	1° 54' 53"	32	笹原 廣喜	49	大分県
28	1° 56' 30"	45	佐伯 秋浩	56	愛媛県
29	1° 56' 50"	49	ヴァンソン・ラボー	39	フランス
30	1° 56' 56"	44	西岡 英治	45	愛媛県
31	1° 57' 37"	31	グスタボ・モリーナ・マルティネス	42	スペイン
32	2° 08' 32"	47	飯塚 裕治	50	島根県
33	2° 09' 51"	35	マシュー・デイビス	56	アメリカ
34	2° 09' 51"	46	梅澤 ゆとり	57	富山県
35	2° 09' 52"	33	藤原 修	60	大分県
36	2° 09' 52"	36	馬本 節男	65	広島県
37	2° 09' 56"	39	海野 剛	48	静岡県
38	2° 17' 23"	54	イアン・ローデ	45	オーストラリア

順位 Rank	記 録 Time	ナンバー No.	氏 名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
39	2° 17' 28"	37	鎌田 成利	41	徳島県
40	2° 22' 39"	48	内賀島 守	62	熊本県
41	2° 24' 06"	34	岩下 啓三	48	熊本県
42	2° 27' 32"	38	細川 一雄	65	富山県
43	2° 27' 41"	40	ピーター・ホーキンス	59	アメリカ
44	2° 40' 19"	41	ウィリアム・レアー	65	アメリカ

世界記録：マルセル・フグ (スイス)

日本記録：鈴木 朋樹 (東京都)

大会記録：マルセル・フグ (スイス)

1° 17' 47" 2021 第40回大分国際

1° 18' 37" 2021 第40回大分国際

1° 17' 47" 2021 第40回大分国際

●T34/53/54 女子

順位 Rank	記 録 Time	ナンバー No.	氏 名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	1° 35' 11"	62	カテリーヌ・デブルナー	28	スイス
2	1° 35' 11"	61	マニュエラ・シャー	38	スイス
3	1° 35' 13"	56	スザンナ・スカロニ	32	アメリカ
4	1° 44' 49"	57	喜納 翼	33	沖縄県
5	1° 44' 49"	67	クリスティー・アン・ドーズ	43	オーストラリア
6	2° 08' 47"	77	中山 和美	40	北海道
7	2° 17' 24"	68	ジャクリン・ルイズ・ゴドフリー	43	オーストラリア
8	2° 30' 28"	73	カルメン・ヒメネス・アバド	43	スペイン
9	2° 49' 20"	74	ナターシャ・プライス	43	オーストラリア

世界記録：カテリーヌ・デブルナー (スイス)

日本記録：喜納 翼 (沖縄県)

大会記録：カテリーヌ・デブルナー (スイス)

マニュエラ・シャー (スイス)

1° 34' 16" 2023 ベルリン

1° 35' 50" 2019 第39回大分国際

1° 35' 11" 2023 第42回大分国際

1° 35' 11" 2023 第42回大分国際

ハーフマラソン クラス別順位 / Rankings for Half Marathon in each class

●T51 男子

順位 Rank	記 録 Time	ナンバー No.	氏 名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	1° 42' 09"	424	長崎 裕也	41	東京都
2	1° 58' 46"	438	清水 佑太	37	大分県

●T51 女子 出走者なし

●T33/52 男子

順位 Rank	記 録 Time	ナンバー No.	氏 名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	0° 52' 47"	321	伊藤 竜也	37	福井県
2	1° 06' 41"	347	ジョナサン・タン	34	オーストラリア
3	1° 07' 47"	373	服部 周恩	40	滋賀県
4	1° 13' 36"	369	飯嶋 毅洋	45	大阪府
5	1° 14' 44"	422	赤井 俊之	35	兵庫県
6	1° 25' 07"	387	岩上 豪一	60	鳥取県
7	1° 27' 42"	388	後藤 忠正	68	熊本県
8	1° 31' 05"	389	田湊 寿一	43	大分県
9	1° 31' 49"	391	小出 公典	50	大分県

順位 Rank	記 録 Time	ナンバー No.	氏 名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
10	1° 32' 10"	390	櫻井 悠也	30	愛知県
11	1° 32' 20"	392	比嘉 三男	58	沖縄県
12	1° 33' 49"	394	川久保 一馬	73	佐賀県
13	1° 45' 11"	398	矢島 一樹	26	熊本県
14	1° 47' 56"	404	西島 健一郎	59	熊本県
15	1° 55' 42"	401	中崎 真	54	鹿児島県
16	1° 56' 05"	435	濱田 大星	21	大分県
17	1° 58' 39"	423	尾島 宏治	43	大分県
18	2° 01' 56"	406	清原 大輝	19	宮崎県

●T33/52 女子

順位 Rank	記 録 Time	ナンバー No.	氏 名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	1° 15' 15"	381	田中 照代	64	愛知県
2	1° 20' 25"	376	木山 由加	39	岡山県

●T34/53/54 男子

順位 Rank	記 録 Time	ナンバー No.	氏 名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
1	0° 43' 05"	302	生馬 知季	31	岡山県
2	0° 46' 59"	341	キム・ジョンボム	27	韓国
3	0° 47' 29"	306	佐々木 凜平	27	東京都
4	0° 48' 09"	308	仲泊 厚志	18	沖縄県
5	0° 48' 09"	303	城間 圭亮	27	沖縄県
6	0° 48' 10"	305	廣道 純	49	大分県
7	0° 49' 36"	433	豊田 響心	17	岡山県
8	0° 49' 50"	312	寒川 進	55	京都府
9	0° 49' 52"	307	山口 修平	37	大分県
10	0° 51' 04"	313	遠山 勝元	17	東京都
11	0° 52' 01"	311	用田 竹司	47	京都府
12	0° 53' 07"	316	山本 秀明	47	広島県
13	0° 53' 09"	319	野村 光義	44	京都府
14	0° 53' 26"	411	小玉 結一	24	宮崎県
15	0° 55' 11"	310	伊藤 智也	60	三重県
16	0° 55' 14"	320	馬場 達也	34	東京都
17	0° 55' 52"	324	赤木 哲也	48	広島県
18	0° 55' 53"	326	渡邊 敏貴	56	東京都

順位 Rank	記 録 Time	ナンバー No.	氏 名 Name	年齢 Age	都道府県/国/地域 Countries/Territories
19	0° 55' 53"	317	山口 悟志	67	愛媛県
20	0° 55' 54"	329	山本 行文	69	熊本県
21	0° 55' 54"	421	浜田 和成	60	大阪府
22	0° 57' 41"	336	大西 慶尚	31	兵庫県
23	0° 58' 00"	327	中井 康彦	44	大阪府
24	0° 58' 36"	328	古畑 篤郎	29	東京都
25	0° 59' 52"	334	三浦 智晴	56	大分県
26	0° 59' 53"	315	キム・ビョンフン	19	韓国
27	1° 00' 19"	358	キム・ドユン	18	韓国
28	1° 00' 58"	339	松永 大護	21	静岡県
29	1° 01' 28"	335	松尾 健次	55	佐賀県
30	1° 01' 29"	338	橋爪 淳	61	神奈川県
31	1° 01' 48"	426	ユ・ヒョンデ	50	韓国
32	1° 02' 22"	332	城 隆志	63	大分県
33	1° 02' 23"	333	鈴木 俊光	67	静岡県
34	1° 03' 29"	325	櫻井 秀彦	46	静岡県
35	1° 04' 38"	416	片倉 政人	64	沖縄県
36	1° 04' 42"	354	ジャン・マーク・テルニョロ	51	フランス

順位 Rank	記 録 Time	ナンバー No.	氏 名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries/Territories
37	1° 04' 53"	344	内田 琢馬	21	佐賀県
38	1° 05' 43"	352	村上 勝也	62	佐賀県
39	1° 05' 53"	412	山北 泰士	25	佐賀県
40	1° 06' 06"	350	木下 大輔	29	宮崎県
41	1° 06' 22"	349	吉川 勇	70	大分県
42	1° 06' 42"	446	石田 翔太	31	愛媛県
43	1° 07' 19"	382	吉村 正年	51	愛知県
44	1° 07' 22"	415	前田 純一	54	長崎県
45	1° 08' 36"	366	原田 耕一	66	大分県
46	1° 08' 51"	346	能島 孝洋	41	岡山県
47	1° 09' 43"	356	野田 浩二	56	大分県
48	1° 09' 45"	428	マクリーン・ジジエンヨ	36	ガーナ
49	1° 10' 13"	367	ジェフリー・トラペット	44	オーストラリア
50	1° 11' 49"	374	マハラジャン・スジャン	28	大分県
51	1° 11' 58"	368	本田 昌士	46	大分県
52	1° 12' 07"	345	小川 昌昭	66	岡山県
53	1° 12' 11"	355	フゴー・ミュラー	60	スイス
54	1° 12' 33"	378	山口 拓	31	愛知県
55	1° 13' 28"	351	市野 隆	65	静岡県
56	1° 15' 20"	362	塩地 優	35	大分県
57	1° 16' 46"	363	山入端 清宗	71	沖縄県

順位 Rank	記 録 Time	ナンバー No.	氏 名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries/Territories
58	1° 18' 46"	364	佐藤 隆信	61	大分県
59	1° 19' 17"	414	中村 久次	53	愛媛県
60	1° 19' 26"	418	ヴィンチ・カヴィッキア	61	スイス
61	1° 19' 32"	434	大上 克	40	大分県
62	1° 20' 41"	380	柴田 凌	29	広島県
63	1° 20' 47"	370	新地 亮平	42	鹿児島県
64	1° 23' 05"	379	井崎 英明	54	大分県
65	1° 26' 29"	443	黒木 寛嵩	17	鹿児島県
66	1° 26' 52"	431	ラムカジ・ミジャー	31	ネパール
67	1° 26' 57"	384	外山 哲功	69	宮崎県
68	1° 27' 51"	402	原野 優季	41	佐賀県
69	1° 28' 58"	386	酒井 俊二	70	愛知県
70	1° 33' 48"	397	花水 知明	37	大分県
71	1° 34' 51"	377	高峯 俊	22	熊本県
72	1° 35' 27"	395	堤 福仁	16	宮崎県
73	1° 39' 49"	444	後藤 竜羽	22	大分県
74	1° 40' 04"	417	岡田 勇	52	埼玉県
75	1° 43' 16"	361	荻堂 盛助	76	沖縄県
76	1° 43' 17"	436	比嘉 諒人	22	沖縄県
77	1° 48' 24"	400	川添 圭介	39	宮崎県
78	1° 56' 54"	432	クリシュナ・ラージュ・チョドリー	41	ネパール

●T34／53／54 女子

順位 Rank	記 録 Time	ナンバー No.	氏 名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries/Territories
1	0° 52' 01"	318	村岡 桃佳	26	岡山県
2	0° 55' 54"	331	安川 祐里香	30	沖縄県
3	1° 06' 49"	348	棚田 優子	61	富山県
4	1° 08' 51"	343	正木 楓	28	神奈川県
5	1° 12' 08"	371	見崎 真未	21	熊本県
6	1° 16' 33"	365	山入端 依子	62	沖縄県
7	1° 17' 58"	372	中村 来夢	16	東京都
8	1° 22' 10"	385	片平 留依	30	福岡県
9	1° 27' 30"	430	ラサミー・シパトゥース	39	ラオス
10	1° 34' 24"	429	ピランフォン・カミクーン	37	ラオス
11	1° 34' 38"	399	奥谷 いつ子	64	愛知県
12	1° 40' 30"	405	西山 美沙希	23	大分県
13	2° 03' 06"	440	藤光 みどり	37	大分県

第42回大分国際車いすマラソン 国、都道府県別の出走者数

The 42nd Oita International Wheelchair Marathon The Number of Participants of Countries & Territories

国内参加者 Japanese Participants

都道府県名 Prefecture	マラソン Marathon		ハーフマラソン Half Marathon		合計 Total
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	
北海道		1	1		2
茨城県				1	1
埼玉県	2		1		3
千葉県	1				1
東京都	3		6	1	10
神奈川県			1	1	2
富山県	2			1	3
福井県			1		1
静岡県	1		4		5
愛知県			4	2	6
三重県			1		1
滋賀県			1		1
京都府			3		3
大阪府	2		3		5
兵庫県			2		2
鳥取県			1		1
島根県	1				1
岡山県	2		4	2	8
広島県	1		4		5
徳島県	1		1		2
愛媛県	2		3		5
福岡県	5		3	1	9
佐賀県			6		6
長崎県	1		1		2
熊本県	3		5	1	9
大分県	3		23	2	28
宮崎県			6		6
鹿児島県			4		4
沖縄県	1	1	9	2	13
計	31	2	98	14	145

海外参加者 Foreign Participants

国または地域名 Country & Territory	マラソン Marathon		ハーフマラソン Half Marathon		合計 Total
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	
オーストラリア (AUSTRALIA)	2	3	2		7
中国 (CHINA)	2				2
コロンビア (COLOMBIA)	1				1
フランス (FRANCE)	1		1		2
ガーナ (GHANA)	1		1		2
アイルランド (IRELAND)	2				2
韓国 (KOREA)	2		5		7
メキシコ (MEXICO)	1				1
南アフリカ (SOUTH AFRICA)	1				1
スペイン (SPAIN)	3	1			4
スイス (SWITZERLAND)	2	2	2		6
アメリカ (U.S.A.)	4	1			5
コスタリカ (COSTARICA)	1				1
ネパール (NEPAL)			2		2
ラオス (LAOS)				2	2
計	23	7	13	2	45

クラス別※

	マラソン Marathon			ハーフマラソン Half Marathon			合計 Total
	男 Male	女 Female	合計 Total	男 Male	女 Female	合計 Total	
T34/53/54	44	9	53	84	14	98	151
T33/52	6	—	6	22	2	24	30
T51	4	—	4	3	—	3	7
合計 Total	54	9	63	109	16	125	188

※全参加者のうち2名はクラス対象外とし OP 参加のため上表には加えていない。

参加者（種目集計） Participants

参加者数 Participants	マラソン Marathon		ハーフマラソン Half Marathon		合計 Total	
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female
国内 Japanese Participants 29都道府県	31	2	98	14	129	16
		33		112		145
海外 Foreign Participants 15か国・地域	23	7	13	2	36	9
		30		15		45
合計 Total 16か国・地域	54	9	111	16	165	25
		63		127		190

第42回大分国際車いすマラソン 実施要綱

1 目 的

この大会は、日本国内及び外国・地域の身体に障がいのある方が車いすマラソンを通じて、希望と勇気をもって社会に参加する意欲を喚起するとともに、広く県民が障がいのある方についての関心と理解を深めることを目的とする。

2 名 称

第42回大分国際車いすマラソン

3 主 催

大分県、公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、大分市、大分合同新聞社、社会福祉法人大分県社会福祉協議会、大分県障がい者スポーツ協会

4 公 認

世界パラ陸上競技連盟 (World Para Athletics)
(この大会は、WPA Approved Event として公認されている。マラソンについては、国際パラリンピック委員会 (IPC) 選手ライセンス登録が完了し、かつ国際クラスを保持する選手の結果及び記録のみ、WPA の公認対象となる。なお、ハーフマラソンの全結果は、WPA の公認対象ではない。)

5 主 管

一般財団法人大分陸上競技協会

6 共 催

株式会社大分放送

7 後 援

外務省、厚生労働省、スポーツ庁、大分県教育委員会、大分市教育委員会、公益財団法人大分県スポーツ協会、一般社団法人大分県身体障害者福祉協会、社会福祉法人大分合同福祉事業団、社会福祉法人太陽の家、社会福祉法人大分県共同募金会、公益社団法人分県理学療法士協会、NHK 大分放送局、株式会社テレビ大分、大分朝日放送株式会社、株式会社エフエム大分

8 協 賛

オムロン株式会社、ソニーグループ株式会社、本田技研工業株式会社、三菱商事株式会社、株式会社デンソー、株式会社富士通エフサス、新日本製薬株式会社、一般社団法人中村裕パラスポーツサポートミーティング、株式会社大分銀行、株式会社九電工、富士通株式会社、キャノン株式会社、株式会社シッパス、ジブラルタ生命保険株式会社、清水建設株式会社、公益社団法人大分県薬剤師会、株式会社マルミヤストア、全日本空輸株式会社、全国共済農業協同組合連合会、株式会社別大興産、東京海上日動火災保険株式会社、第一生命保険株式会社、鬼塚電気工事株式会社、ファイテン株式会社、株式会社コンカー、日本郵便株式会社、LINE ヤフー株式会社、西日本電信電話株式会社、社会福祉法人わかば会清流の郷、株式会社オートバックスセブン、株式会社ブンゴヤ薬局、株式会社スズキ、新星工業株式会社、日本赤十字社大分県支部、株式会社大鐵、トランス・コスモス株式会社、株式会社安川電機、株式会社モリサワ、社会福祉法人陽谷福祉会、第一交通産業株式会社、大分第一ホーバードライブ株式会社、梅林建設株式会社、柳井電機工業株式会社、株式会社まるみで、大分県プレハブ建築連絡協議会、株式会社 JTB、株式会社太田旗店、株式会社みずほ銀行、平倉建設株式会社、明治安田生命保険相互会社

9 協 力

大分県警察本部、陸上自衛隊第41普通科連隊、大分市交通指導員連合会、日本赤十字社大分県支部、国立大学法人大分大学、別府重度障害者センター、社会医療法人恵愛会大分中村病院、医療法人社団唱和会明野中央病院、大分市医師会立アルメイダ病院、社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター、大分県パラスポーツ指導者協議会

10 日 時

令和5年11月18日 (土)	
9時00分～12時00分	選手受付 (大分県庁舎)
9時00分～14時00分	クラス分け (大分県庁舎)
14時00分～14時45分	オープニングイベント (ガレリア竹町ドーム広場)
15時00分～15時30分	有力選手記者会見 (ガレリア竹町ドーム広場)
16時00分～16時30分	開会式 (ガレリア竹町ドーム広場)
16時30分～	パレード (ガレリア竹町ドーム広場)
令和5年11月19日 (日)	
8時00分～9時20分	手荷物・生活用車いすの受付 (大分城址公園)
8時00分～9時20分	競技用車いすの検定、ロゴチェック (大分城址公園)
8時00分～9時25分	ウォームアップ (大分市役所周辺)
9時25分～9時45分	プレラインアップ (大分市役所東側)
10時00分	マラソンスタート (大分県庁前)
10時03分	ハーフマラソンスタート (大分県庁前)
13時20分～	閉会式・表彰 (ジェイリース・スクエア)
18時30分～20時30分	交歓のタベ (レンブラントホテル大分)

11 大会開催の基準等

大会中止基準及び緊急時の対応等は、「第42回大分国際車いすマラソン危機対応マニュアル」に基づき対応する。
なお、雨天時においても原則として競技を実施する。

12 実施種目及びコース

マラソン (42.195km)
大分市内 (国際陸上競技連盟／日本陸上競技連盟公認コース)
ハーフマラソン (21.0975km)
大分市内 (国際陸上競技連盟／日本陸上競技連盟公認コース)

13 参加資格

令和5年11月19日現在、満14歳以上の者で下記の条件を満たす者とする。

【マラソン】

- ①国内選手については、身体障害者手帳を所持する車いす使用者、かつ日本パラ陸上競技連盟に登録した者で、主催者が認定した者
- ②外国・地域選手については、車いす使用者、かつ各国の国際パラリンピック委員会に加盟した団体、又はそれに該当する団体に登録した者で、主催者が認定した者

【ハーフマラソン】

- ①国内選手については、身体障害者手帳を所持する車いす使用者で、主催者が認定した者
- ②外国・地域選手については、車いす使用者で、主催者が認定した者

14 参加料

マラソン5,000円、ハーフマラソン1,000円とする。

15 競技規則

World Para Athletics 競技規則 (大会開催日に適用となる最新の WPA 競技規則) 及び別に定める本大会競技注意事項等による。参加するすべての選手に WPA 競技規則の広告に関する規程が適用される。

16 クラス分け

- (1)マラソン、ハーフマラソンとも、T51、T33/52、T34/53/54の3クラスに分ける。
- (2)クラス分けが必要な選手については、大会前日の受付会場において判定する。
なお、この大会で行われるクラス分けは、日本国内では有効であるが、WPA の国際クラスとしては承認されるものではない。

17 ドーピング検査

本大会では、ドーピング検査を実施する。

18 表 彰

- (1)マラソン・ハーフマラソンとも男女別・クラス別に1位から3位を表彰する。
- (2)マラソンにおいて一定以上の成績をあげた選手に対して、賞金を授与する。金額については、別に定める。
- (3)順位決定及び賞金の授与には、WPA における公認や選手登録の有無は影響しない。

19 申込方法

- 申込方法は以下のいずれかとする。
 - ①公式ホームページの電子エントリーフォームによる申込み。
 - ②参加申込書に必要事項を明記し、顔写真2枚を添付の上、大会事務局あて郵送またはメールにて送付する (当日消印有効。なお、メールによる参加申込書の送付の場合は、顔写真の画像ファイルを1枚添付すればよい)。
- ※①、②ともに、参加申込みの締切は、令和5年8月31日 (木) までとする。

20 競技中の事故

競技中の事故により負傷した場合、応急処置は主催者において実施するが、治療費は原則として選手の負担とする (健康保険証を持参すること)。

21 選手及び競技運営関係者を対象とする保険への加入

競技中の事故等に備え、主催者において、選手及びスタッフ等を対象とする保険に加入する。保険の内容については、別途示すこととする。

22 個人情報の取扱い

主催者及び大会事務局は個人情報保護に関する法令を遵守する。
なお、取得した個人情報は参加資格の審査、プログラム編成及び作成、応援チラシ等の印刷物の作成、報道機関からの問い合わせ、広報活動、記録発表、感染予防対策、並びにその他競技運営に必要な用途に限り利用する。

23 大会事務局

大会事務局は、大分県福祉保健部障害者社会参加推進室内、大分県障がい者スポーツ協会に置く。

所 在 地	〒870-8501 大分市大手町3丁目1番1号
電 話 番 号	097-533-6006
F A X	097-506-1736
第42回大分国際車いすマラソン事務局メールアドレス	kurumaisu-marathon@pref.oita.lg.jp
第42回大分国際車いすマラソンホームページ URL (アドレス)	www.kurumaisu-marathon.com

第42回大分国際車いすマラソン 危機対応マニュアル

I 趣旨

このマニュアルは、第42回大分国際車いすマラソンの中止基準及び緊急事案発生時の対応について、大会本部、関係者の対応に必要な事項を定めるものとする。

II 大会中止基準

- (1)大分地方気象台が、大分市に警報(大雨、洪水、暴風、暴風雪、大雪、高潮)を発表したとき又は発表するおそれがあるとき。
- (2)県内で震度5以上の地震を観測し、大分県に災害対策本部が設置されたとき。
- (3)県内に津波警報(大津波)が発表され、大分県に災害対策本部が設置されたとき。
- (4)その他の災害で大分県に災害対策本部が設置されたとき。
- (5)コース上で大規模な事故、事件、火災、ガス漏れ、水道管破裂、道路陥没、停電等により、レース運営に支障を来す事案が発生したとき。
- (6)全国瞬時警報システム(Jアラート)が発令され安全確保ができないとき。
- (7)国内で大災害が発生したとき、又は社会的に大きな事件等大会の開催が困難となる事象が発生したとき。
- (8)ただし、上記(1)~(7)の場合であっても、大会会長が実施可能と判断し、大会を開催する場合がある。

III 判断方法(レース前)

大会事務局により、下記の日程で開催検討会議を逐次実施し開催の可否について検討する。

なお、検討にあたっては、大会技術代表及び競技役員総務の意見を反映すること。

- ① レース7日前
- ② レース前日 午前10時
- ③ レース当日 午前4時

最終決定は開催検討会議の結果をふまえ、大会会長が判断する。

IV 緊急事案発生時の対応

大会期間中に緊急事案が発生し、又は発生するおそれがある場合は、大会本部及び関係者において、事態に処するものとする。

(1)想定される緊急事案の種類

事案の態様	種 別
自然災害	①風雨 ②地震 ③津波 ④噴火 ⑤その他大規模な災害
大規模な事件	⑥弾道ミサイル発射 ⑦爆破 ⑧無差別テロ ⑨毒劇物散布(異臭騒ぎ含む) ⑩各事案の予告 ⑪不審物(者)の発見 ⑫パニック
大規模な事故	⑬爆発 ⑭火災 ⑮ガス漏れ ⑯水道管破裂 ⑰道路陥没 ⑱停電

(2)対応行動

緊急事案が発生した場合は、迅速かつ的確に以下の措置を講ずる。

ア 大会関係者等への情報伝達と避難準備

大会本部は大会関係者等に対し、発生した緊急事案を正確に伝え、混乱をきたさないよう、場内放送、無線及び携帯電話による周知、大会協力者の口頭、その他あらゆる手段により、大会関係者等に対して周知を図り、必要に応じて避難準備等を促すものとする。

イ 選手及び観客への情報伝達と避難準備

緊急車両、最終通告車等によるアナウンス並びにコース付近での大会協力者の口頭など、その他あらゆる手段により選手及び観客に対して周知を図り、必要に応じて避難準備等を促すものとする。

ウ 救護活動

負傷者が発生した場合は、可能な範囲で身元確認に努めるとともに、安全な場所に誘導し、到着した消防(救急隊)に引き継ぐものとする。

エ 避難誘導及び残留者の確認

避難誘導に際しては、避難行動の支障となる物品を撤去し、安全確保対策を行うとともに、自らの行動に制約のある障がい者、乳幼児等、避難行動要支援者に配慮を行いながら、誘導するものとする。

なお、避難誘導中に負傷者又は逃げ遅れた者を発見した場合は、大会関係者が相互に連携し、救護又は誘導に努めるとともに、対応が不可能と判断した場合は、速やかに警察・消防に引き継ぐものとする。

オ スタート後のレース中止による選手の収容

コース上の選手を収容し、収容車ほかコース配置車両を総動員して大分市宮陸上競技場又は大会本部が指定する場所に帰着させる。

第42回大分国際車いすマラソン競技注意事項

本大会は、World Para Athletics 競技規則(大会開催日に適用となる最新の WPA 競技規則)及び競技注意事項等により実施する。

■競技注意事項

- 1 本大会は、マラソン、ハーフマラソンを実施する。
- 2 マラソンとハーフマラソンのスタートは、時間差スタートとし、時間差は3分とする(男女共通)。
- 3 競技者は、衣類及び車いすについて、WPA 競技規則の広告に關する規程を遵守しなければならない。
- 4 競技者は、スタートラインからフィニッシュラインまで、コース内の決められた走路を走行する。
- 5 競技者は競技役員の許可を得て、かつその監督下にある場合は、コースを離れたことにより走行距離が短くならないことを条件に示されたコースを離れることができる。
- 6 本大会では、種目(マラソン・ハーフマラソン)、クラス又は性別の異なる選手の背後を5m以内の距離で追走する行為(ドラフティング)を禁止する。
- 7 競技者が走行中に他の競技者の走行を故意に妨害した場合は、失格とする。
- 8 競技者は、ヘルメットを着用しなければならない。ヘルメットは外殻が固く、保護性に優れ、国際安全基準(スネル規格 b-84/90/95、BSI6863、EN1078等)を満たしていなければならない。
- 9 競技者が走行中に転倒した場合は、競技役員及び警察官による介助のみ受けられる。ただし、競技者に有利になるような介助は受けてはならない。
- 10 競技中における車いす修理の援助は原則行わない。また、修理に必要な器具等の提供、貸与は行わない。
- 11 審判長または医師から中止を命じられた競技者は、直ちに競技を中止しなければならない。
- 12 競技者は、競技役員及び警察官の指示に従わなければならない。
- 13 競技者は競技中、下肢のいかなる部分も地面又はトラックに接触してはならない。
- 14 クラス分けについては、別紙の国際クラス分け表による。
- 15 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。なお、日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。
- 16 関門の制限時間を次のとおり設ける。

第一関門(約3km)	20分00秒	(10時20分00秒)
15km地点	1時間00分00秒	(11時00分00秒)
25km地点	1時間45分00秒	(11時45分00秒)
35km地点	2時間25分00秒	(12時25分00秒)
フィニッシュ地点	3時間00分00秒	(13時00分00秒)

第一関門(約3km)	20分00秒	(10時23分00秒)
10km地点	57分00秒	(11時00分00秒)
15km地点	1時間27分00秒	(11時30分00秒)
20km地点	1時間57分00秒	(12時00分00秒)
フィニッシュ地点	2時間07分00秒	(12時10分00秒)

制限時間を超えた競技者は、関門に到達していなくても、直ちに収容車に収容する。

17 水の供給については、次のとおりとする。

- (1) 給水所を次のとおり設ける。
マラソンの部……………7km(26km地点を兼ねる)、13km(31kmを兼ねる)、18km(37km地点を兼ねる)地点付近

ハーフマラソンの部…7km、13km地点付近

- (2) 主催者が用意するものは水だけとし、その他の飲料は用意しない。
- (3) 競技者は、主催者が設けた各給水所以外で他人から飲食物やスポンジなどを受け取った場合は、失格とする。なお、主催者が設けた場所では、競技役員から手渡しで給水を受け取ることは可能とする。
- (4) 各給水所にて、競技者に対する霧吹きによる水の噴霧を行う。希望する競技者は各給水所にて競技役員に申し出ることとし、噴霧は競技役員が行い、各給水所以外の場所では行わない。
- 18 車いすについては、次のとおりとする。
 - (1) 車いすは2つの大きな車輪と1つの小さな車輪から成るものとし、小さな車輪は、車いすの前方になければならない。
 - (2) すべての車いすは、安全の目的から、機能的な(制動制御)ブレーキシステムを備えていなくてはならない。
 - (3) 車いすのフレームのいかなる部分も前輪の車軸を超えて前方に突き出ているはならず、さらにフレームおよびその付属品の幅はリムの傾斜面より広くてはならない。車いすフレーム底部の地面からの高さは、50cm以内とする。
 - (4) 車いすのいかなる部分も後輪の最後部を結んだ垂直面から後方に突き出ているはならない。
 - (5) 後輪、前輪の直径は十分に空気を入れたタイヤを含んでそれぞれ70cm、50cmを超えてはならない。
 - (6) 各大輪には平らで円形のプッシュリムをただ1つ付けることができる。ただし、この規則は選手受付時に実施するクラス分けの結果と技術代表の判断があれば、片腕で車いすを操作する競技者のためにこの規則を変更できる。
 - (7) 車いすを推進するいかなる機械的ギアやレバーも使用してはならない。
 - (8) トラック及び道路競技ではミラーの使用を禁止する。

- (9) 機械的操縦装置は腕で操作するもののみ認める。
 - (10) 競技者は前輪を手動で左右に動かすことができればならない。
 - (11) フェアリングの使用又は空気力学的な能力を向上させるように特別に設計された車いすやそれに類似した装置の使用は禁止する。
 - (12) 車いすは招集場で測定を受ける。いったん検査を受けた車いすであっても、競技開始前または終了後に競技役員が再検査することがある。
 - (13) 前述の全ての規則に従うのは競技者の責任であり、いかなる競技も競技者が車いすを調整するために遅れることがあってはならない。
 - (14) 車いす後部に転倒防止を目的としたキャストの取り付けについて、ハーフマラソンに出場する T51 クラスのみ、取り付けを認める。
- 19 アスリートビブス（旧ナンバーカード）について
アスリートビブスは配布された形で着用しなければならず、切ったり折りたたんだりあるいはいかなる方法でも見えなくしてはならないが、風通しをよくする目的で、文字や数字の部分避けて穴をあけることは可能とする。
- 20 撮影機器について
競技者は、競技区域内に小型カメラ、携帯電話等の撮影が可能な機器（静止画、動画問わず）を持ち込んではいけません。競技区域内とは、ウォーミングアップ区域及びプレラインアップからフィニッシュエリア（芝生内）までの区域を指す。ただし、TD の許可を得た場合を除く。
- 21 下記については、助力行為とみなさずに許可する。
身体保護及び/あるいは医療目的のあらゆる身体保護具（包帯、絆創膏、ベルト、支持具、冷却機能付きリストバンド、携帯用酸素ボンベ等の呼吸器具。ただし、医療目的の身体保護具については予め競技役員の許可を得ること。）
競技者本人が携帯もしくは着用して使用する心拍計、速度・距離計、ストライドセンサー、その他類似的機器。ただし、他者との通信に使用不可能なものに限る。

(別紙) 国際クラス分け表

T51

このクラスの選手は通常、肘関節屈曲、手関節背屈の筋力がグレード 5 あり、肩関節の筋は筋力低下がみられ、特に大胸筋や上腕三頭筋の筋力はグレード 0 ～ 3 である。通常、体幹の筋力は機能しない。

肘関節の屈筋と、手関節の背屈筋を用いて駆動する。膝の上に顎を置いて、体幹を真っすぐにして座っている。脊髄損傷の神経残存レベル C 5 ～ 6 レベルと同等の活動制限がある。

T33/52

T33

四肢麻痺、三肢麻痺、重度の片麻痺-中等度（非対称性または対称性）の四肢麻痺、またはより機能の良い側の障害上肢にほぼ完全な筋力があり車いすを使用する重度の片麻痺。選手がより機能の良い側の障害上肢にほぼ完全な機能を持つ片麻痺か三肢麻痺の状態を呈しない限り、このクラスにアテトーゼの選手が含まれることは稀である。自立的に車いすを推進することができる。

上肢—少なくとも障害のある上肢は伸展とフォロースルーの制限がある痙性グレード 2 の中等度の制限。障害のある手が円筒状と球状の握りを示すことがある。

体幹—車いすを力強くプッシュする時、前方への体幹の動きは、伸展痙性によってしばしば制限される。痙性グレードは 2。

下肢—痙縮グレード 3 ～ 4。いくつかの明らかな機能が、トランスファー時に観察することができる。介助または歩行支援用具を使って歩行ができるかもしれないが、短距離のみである。

T33 と T34 の違いは、車いす駆動時の体幹の動きと、手の機能が重要である。もしも、駆動動作時に、すばやい体幹運動を使うこと、または上肢運動の明らかな非対称性、もしくは握りとリリースに非常に貧しい能力を示した場合は、クラス T33 である。

片上肢で車いすを駆動する場合、ロングストロークや素早い握り、リリースを行っていても、T33 である。

T52

このクラスの選手は通常、肩・肘・手関節の筋力は正常である。手指屈伸筋力は手内筋の萎縮を伴って正常ではない。駆動には肩・肘・手関節を用いている。通常、体幹筋力は機能しない。T53、T54 のクラスと同じようなグロブテクニクを用いる場合もある。脊髄損傷の神経残存レベル C 7 ～ 8 と同等の活動制限がある。

T34/53/54

T34

両麻痺—中等度から重度。上肢と体幹の障害（制限と問題）は最小限で機能は良好。

上肢—上肢は、多くの場合、正常の機能を示す。関節可動域の最小限の制限があるが、ほぼ正常なフォロースルーが可能で、投げたり、駆動もほぼ正常である。手の機能は正常で、すべてのスポーツで見られるように、つかみやすい握りが可能である。制限があるとすれば、早く細かい運動で見られる。両麻痺は上肢よりも下肢の方がより痙性が強い。痙性グレード 1 ～ 2。手、上肢、体幹を機能的に動かすことが可能である。

体幹—痙縮グレード 1 ～ 2。車いす駆動時の体幹の動きは最小限の制限。いくつかの選手は疲労で痙性が増強することもあるが、適切なポジショニングで克服することができる。立位時、バランスは補助器具を使用しても不良 (poor) である。

下肢—中等度から重度。両下肢とも痙性グレードは 3 ～ 4。通常、補助具を使用せずに長距離歩行はできない。車いすの駆動では長く、力強い駆動、素早い把持とリリースが可能である。しかし、手の細かい動きが影響を受けるかもしれない。駆動時に、これらの細かい動きは必須ではない。体幹の前方および後方の強い動きは、上肢のストロークをサポートしている。これらの体幹運動が起こらない場合には、体幹はバランスが取れており、上肢の動きのための安定性を提供している。車いすは曲線を走行する時、体幹はバランスを崩すことはない。

T53

このクラスの選手は、正常な上肢機能を持ち、腹筋と下部の背筋は機能しない。腹筋の機能を補うために、体幹を水平に近づけるといった様々なテクニクを用いる。一般的に加速の時には、体幹を下方に保持しておくための腹筋の機能がないため体幹は膝から離れて起きる；駆動中、下方への自動的な体幹の運動はみられない。大抵の場合、代償機能を調整するために駆動サイクルは制限される。脊髄損傷の神経残存レベル T 1 ～ 7 と同等の活動制限がある。

T54

このクラスの選手は、正常な上肢筋力を持ち、体幹をコントロールする能力は部分的なものから正常までの幅を持っている。このグループの選手の中には有効な下肢の筋力を持っている選手もいることがある。リムに駆動の力が加えられた時に、体幹を下方に保持するための正常な体幹コントロールができる。大抵の場合、駆動時のサイクルはスムーズである。

車いす上で身体を起き上がり、回旋する筋力を加えることによって車いすの方向転換をすることができる。脊髄損傷の神経残存レベル T 8 ～ S 4 レベルと同等の活動制限がある。

(※) 上記は、日本版クラス分けマニュアルから抜粋したものであり内容が一部異なる場合があります。詳しくは、日本パラ陸上競技連盟ホームページにて最新版をご参照になるか、大会事務局までお問い合わせください。

<http://jaafd.org/contents/code/committee3>

【第42回大会役員】(Executive Committee Members)

大会会長	大分県知事		佐藤 樹一郎
副会長	大分県副知事		吉田 一生
副会長	公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会	会長	森 和之
副会長	一般社団法人日本パラ陸上競技連盟	会長	増田 明美
副会長	大分市長		足立 信也
副会長	大分合同新聞社	代表取締役社長	長野 景一
副会長	社会福祉法人大分県社会福祉協議会	会長	草野 俊介
副会長	大分県障がい者スポーツ協会	会長	草野 俊介
顧問	オムロン株式会社	代表取締役社長 CEO	辻 永順太
顧問	一般財団法人大分陸上競技協会	会長	小手川 強二
顧問	株式会社大分放送	代表取締役社長	猪俣 知三
顧問	大分県教育委員会	教育長	岡本 天津男
顧問	大分市教育委員会	教育長	佐藤 光好
顧問	公益財団法人大分県スポーツ協会	会長	麻生 益直
顧問	一般社団法人大分県身体障害者福祉協会	会長	佐藤 一夫
顧問	社会福祉法人大分合同福祉事業団	理事長	長野 健夫
顧問	社会福祉法人太陽の家	理事長	山下 達夫
顧問	大分県警察本部	本部長	種田 英明
顧問	陸上自衛隊第41普通科連隊	連隊長	小林 直基
参与	大分県土木建築部	部長	三村 一
参与	大分県警察本部交通部	部長	幸野 俊行
参与	大分市土木建築部	部長	姫野 正浩
参与	公益財団法人日本パラスポーツ協会	常務理事	藤原 正樹
参与	大分合同新聞社	取締役	児玉 真路
参与	別府重度障害者センター	所長	下山 敬寛
委員長	大分県福祉保健部	部長	工藤 哲史
副委員長	大分市福祉保健部	部長	斉藤 修造
副委員長	大分合同新聞社	上席執行役員	青木 貴史
副委員長	一般財団法人大分陸上競技協会	専務理事	稲津 喜英
委員	大分県教育庁	体育保健課長	佐保 宏二
委員	大分県警察本部交通部	交通規制課長	中川 洋一郎
委員	大分県警察本部交通部	交通機動隊長	得本 誠良
委員	大分中央警察署	署長	脇 一朗
委員	大分東警察署	署長	梶原 正勝
委員	大分市福祉保健部	次長兼障害福祉課長	田崎 敢
委員	大分市企画部スポーツ振興課	次長兼スポーツ振興課長	村田 潤
委員	大分合同新聞社	イベント事業部長	天崎 宏一
委員	株式会社大分放送	営業局長兼テレビ営業部長	森永 尚史
委員	一般財団法人大分陸上競技協会	総務委員長	原 俊介
委員	大分県パラスポーツ指導者協議会	会長	池部 純政
委員	別府重度障害者センター	運動療法士長	木畑 聡
委員	大分身体障害者陸上競技協会	会長	久保 しのぶ
委員	通訳ボランティア Can-do	代表	後藤 恵子
委員	大分中村病院	リハビリテーション科統括部長	黒木 洋美

【世界パラ陸上競技連盟】(World Para Athletics)

Technical Delegate (技術代表) 宮田 英明 (WPA 派遣)

【競技役員】(Race Officials)

(◎は主任)

総務	稲津 喜英				
総務員	田崎 弘宣	原 俊介	上杉 貴志	森 幹生	
	泥谷 和幸	古庄 英之	安部 明美	石橋 壽利	
	町野 宏				
JPA - NTO	山下 和行 (JPA 派遣)	町田 紀子 (JPA 派遣)	中深明日香 (JPA 派遣)		
技術総務	◎石橋 壽利	泥谷 和幸	町野 宏		
国際道路コース計測員	苅込 英昭 (JAAF 派遣)				
ジュリー	吉田 徹 (JPA 派遣)	岡松 眞明	船越 武典		
審判長	田崎 弘宣 (マラソン)	原 俊介 (ハーフ)			
監察員	◎廣末 敬 (JTOs)				
	◎洲 俊伸 (監察車③)	渡邊 仙蔵 (監察車①)	小山 建 (監察車①)	森崎 宣和 (監察車②)	
	仲摩 勝春 (監察車④)	阿南 憲治 (監察車⑤)	金丸 和浩 (監察車⑥)	桑原 昇造 (監察車⑦)	
	染矢 睦 (監察車⑧)	佐藤 敏郎 (監察車⑨)	井上 啓司 (監察車)		
決勝審判員 (マラソン・ハーフ)	◎堤 紘一	下城 重喜	榮木 一	石井知由美	
計時員 A	◎栗林 敏勝	西村 義弘			
計時員 B (マラソン・ハーフ)	◎増村 栄彦	財津 廣記			
写真判定員	◎志賀 哲哉	三代 照良			
トランスポンダー	◎渡邊 健太	長野雄一郎			
スターター	◎田中 繁	瀧口登志朗			
記録員	◎伊藤 雅則	中畑千恵子	工藤 啓記		
報道係	◎大西 竜一	徳光 久	竹丸由香里	神矢 恵美	
競技者兼出発係	◎大成 千草 (マラソン)	坂本 智美	石川 康壽	田中 義博	
	河野 富穂	山西 敏晴	安東 寿子	梶原 清美	
	高司 悠佑	酒井 宏	下田 法子	赤崎 惣	
	衛藤 憲一	徳光慎太郎			
	◎三宅美智子 (ハーフ)	財津美紀夫	阿部 光佳	園田 明美	
	柳井 幸子	小野 誠司	南 彰仁	蒲生 健児	
	高森 京子				
外国人競技者係	◎丸尾 直彦	衛藤 昭	長野由美子		
気象計測員	◎橋本 孝之	大成 忍	羽田野二郎		
役員係	◎安部 明美	藤井 宗隆	小間 敏子	内田 貞美	
	首藤 麻希				
マーシャル兼出発係	◎中野 明美	佐藤 慎司	河野 勝彦	西 親則	
	中村 政子	中村 健治	中野 実咲		
用器具係	◎櫻井 貢	柴山 廣	大戸 功雄	森本 秀治	
収容者係	◎江藤 輝幸	日名子義生	三嶋 一哲	吉原誠一郎	
医務係	◎坂本真由美	伊賀 弥生	中野 実希	梶原 進一	
放送係	◎三代 寿子	菅田 俊介			
ドーピング コントロールオフィサー	◎青木 哲哉	西 竜二郎	中野功一郎	渡邊 慈	
	山口 顕子				
シャペロン	◎首藤 昭光	伊東 清信	日高 千紘		
医療統括責任者	黒木 洋美				
クラス分け委員	池部 純政	植原 史恭	横前 直樹	小宮 諒	
	安藤芽久美	高原由美子	杉山 真理	浅沼 満	
	北村麻衣子				

関門役員

マラソン第一関門
ハーフ第一関門
マラソン5km
ハーフ5km
第一・第三折返し点
マラソン10km
ハーフ10km
ハーフ第二折返し点
マラソン15km
ハーフ15km
マラソン20km
ハーフ20km
マラソン中間点
マラソン25km
マラソン第二・第四折返し点
マラソン30km
マラソン35km
マラソン40km

◎小俣賢二郎
◎後藤 和久
◎野田 浩
◎宅野 成喜
◎大戸 貴博
◎山本 豊
◎諸田 義信
◎大庭 恵一
◎甲斐 強
◎村西 栄二
◎吉川 正文
◎明石 敦郎
川野奈緒美
◎鳥倉 秀聖
◎杉本 和之
◎小野 千里
◎足立 達哉
◎板井 新一
◎柴北 育昌

上久保 晃
瀧石 裕一
平山 勝治
濱崎義日出
藤田 義昭
坂巻 諄
後藤 信徳
竹内 邦弘
判田 剛
西山 祐一
須磨 長愷
佐藤 晃
戸曾 正博
長峰 徳幸
鳴海さくみ
東本 孝
松浦 利美
上久保陽子

吉田 研

重藤 幸子
井上 達夫
川野 恵子
白石 尚輝
財津 高喜
後藤 信介
井上淳之助
中島 英利

川上 愛佳
高瀬 政寛
新宮 眞二
工藤 武子

後藤 大輔
河津 智顕
近藤めぐみ
奥下 美保
工藤 早苗

浅野佳代子
後藤 賢也
立川三枝子
柴田 順子
末延 栞

給水係

7km・26km
13km・31km
18km・36km

◎宮脇 清夫
◎横濱 正
◎猪俣正七郎
◎武石 弘志

梶原 五男
武内 三朗
實河原 幹

矢幡 俊典

吉村 孝義

走路審判員

スタート地点付近

◎宮川喜久生

農業会館南交差点付近
舞鶴橋西交差点・舞鶴橋
舞鶴東交差点・中津留一丁目交差点
花津留一丁目交差点
乗越交差点
平和市民公園先交差点
西中浜交差点
運輸支局前交差点

大洲運動公園入口交差点

弁天大橋東交差点
中島十条交差点
新川交差点
浜町交差点
春日浦交差点
王子町交差点
王子折返し
日本製鐵正門交差点
三海橋（ハーフ折返し）

三海橋東交差点
三佐田交差点
家島橋手前（マラソン折返し）

宮川喜久生（兼）

榎木野愛理
沖田 磨依
椿 宗馬
飯干 順一
仲築間 寛
高野 留美
佐藤 重康
甲斐 浩嗣
佐藤 陽子
仲摩 昇
三上 忠明
堀田 幸忠
伊藤由紀子
古木 春名

◎宮川喜久生（兼）

松崎 安男
御手洗利彦
岩尾 雅弘
畑野 新司
山田 義高
倉野 浩成
高瀬 亮太
黄 壮太
吉田 盛一
高瀬 哲生
後藤 憲行
安心院久嗣

後藤 博文（兼）

山口 美利
佐藤 公輝
仲築間美樹

植野 紅葉
桃田 結香
隅田 智之
副田 博文
松浦 良一
吉良 虹太
後藤 博文（兼）

熊谷 明
小林 臣将
首藤 知昭
後藤こずえ
高司 龍二
渡辺 利彦
岳尾 元勝

高橋孝一郎
新貝 隆
小野 長次

首藤 晴美

後藤 修一
秦 卓司
佐藤 信浩
姫嶋 検次

江頭 郁代

川上 末喜

江頭 郁代

古木 羽純
佐藤翔太郎

板井 朗

久保 裕治

走路審判補助員スタート地点付近
（大分走ろう会）

◎山内 秀人

◎小野 覚
岩本 照子
草野扶美子
百武 正伸
房前 秀治
森川 洋明
山根 義弘

◎久々宮英輝
小野あさ枝
後藤 裕
匹田 忠
宮城 正弘
山内 秀人
渡辺 朝則

池田 秀信
阿部美紀子
佐藤 文男
久枝 静夫
宮崎 早苗
山田 等

第42回大分国際車いすマラソンスケジュール

時 刻	11月18日 (土)	11月19日 (日)
8:00		00 ウォームアップ
9:00	00 選手受付 ※クラス分け不要 (大分県庁舎本館)	25 選手整列開始 40 交通規制開始 57 スタート地点整列完了
10:00	00 選手受付・クラス分け ※クラス分け要 (大分県庁舎本館)	00 マラソンスタート 03 ハーフマラソンスタート
11:00		45 ハーフ トップフィニッシュ見込 20 マラソン トップフィニッシュ見込
12:00		10 ハーフ フィニッシュ地点閉鎖 00 マラソン フィニッシュ地点閉鎖
13:00		20 閉会式(表彰式) (ジェイリース・スタジアム)
14:00	00 オープニングイベント (ガレリア竹町ドーム広場) 45	20
15:00	00 有力選手記者会見 (ガレリア竹町ドーム広場) 30	
16:00	00 開会式 (ガレリア竹町ドーム広場) 30 30 パレード (竹町・中央町商店街) 00	
17:00		
18:00		30 交歓の夕べ (レンブラントホテル大分)
19:00		
20:00		30
21:00		

開会式次第

令和5年11月18日（土）ガレリア竹町ドーム広場

時 刻	式 次 第	備 考
14：00	オープニングイベント	クロストーク「インクルージョンが未来を拓く～我々のチャレンジ」
16：00	開式通告	ファンファーレ
16：01	大会会長あいさつ	大会会長 大分県知事 佐藤樹一郎
16：06	地元市長あいさつ	大会副会長 大分市長 足立信也
16：11	来賓あいさつ	
16：16	主催者・来賓紹介	
16：19	選手宣誓	
16：24	閉式通告	

スタート次第

令和5年11月19日（日）大分県庁前

時 刻	式 次 第	時 刻	式 次 第
8：00	1 ウォームアップ開始	9：50	6 スタート地点選手誘導開始
9：25	2 ウォームアップ終了	9：57	7 選手ラインアップ完了
9：25	3 選手整列開始	10：00	8 マラソンスタート
9：40	4 スタート地点交通規制開始	10：03	9 ハーフマラソンスタート
9：45	5 選手整列完了		

閉会式次第

令和5年11月19日（日）ジェイリース・スタジアム

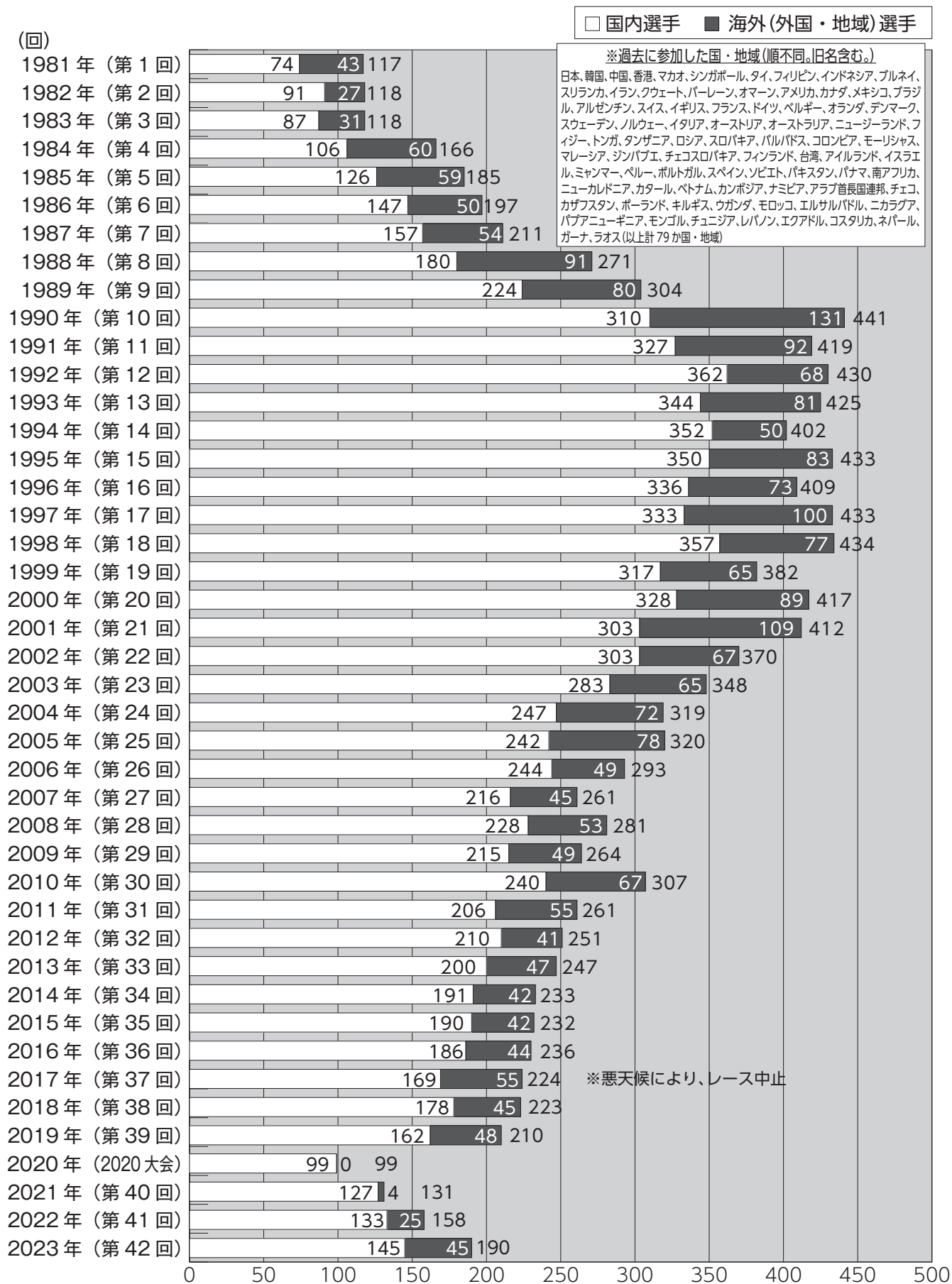
時 刻	式 次 第	備 考
13：20	開式通告	ファンファーレ
13：21	成績発表（ハーフマラソンの部）	ハーフマラソン審判長
13：26	表彰（ハーフマラソン） 男子T51 女子T33/52 男子T33/53 女子T34/53/54 男子T34/53/54	表彰者 大会役員・来賓
13：40	成績発表（マラソンの部）	マラソン審判長
13：46	表彰（マラソン） 男子T51 男子T33/52 女子T34/53/54 男子T34/53/54	表彰者 大会役員・来賓
14：15	大会会長あいさつ	大会会長 大分県知事 佐藤樹一郎
14：19	閉式宣言	ファンファーレ
14：20	閉式通告	

交歓の夕べ

令和5年11月19日（日）レンブラントホテル大分

時 刻	式 次 第	備 考
18：30	あいさつ・乾杯	
20：30まで	歓談	

参加者数の推移



※42回までの参加延べ人数[国内選手 9,625 人/国外(外国・地域)選手 2,551 人=合計 12,176 人](37回含む)

年／大会		国 内									
		ハーフマラソン			マラソン			合計			参加 都道府 県数
		男	女	小計	男	女	小計	男	女		
1981年	第1回大会	72	2	74			0	72	2	74	14
1982年	第2回大会	86	5	91			0	86	5	91	19
1983年	第3回大会	42	4	46	40	1	41	82	5	87	22
1984年	第4回大会	60	2	62	41	3	44	101	5	106	26
1985年	第5回大会	79	2	81	44	1	45	123	3	126	27
1986年	第6回大会	91	5	96	49	2	51	140	7	147	25
1987年	第7回大会	84	4	88	66	3	69	150	7	157	29
1988年	第8回大会	101	7	108	71	1	72	172	8	180	26
1989年	第9回大会	117	13	130	92	2	94	209	15	224	36
1990年	第10回記念大会	155	20	175	130	5	135	285	25	310	41
1991年	第11回大会	173	19	192	130	5	135	303	24	327	41
1992年	第12回大会	199	23	222	136	4	140	335	27	362	43
1993年	第13回大会	183	15	198	143	3	146	326	18	344	43
1994年	第14回大会	186	14	200	148	4	152	334	18	352	43
1995年	第15回大会	176	10	186	161	3	164	337	13	350	43
1996年	第16回大会	164	10	174	160	2	162	324	12	336	44
1997年	第17回大会	168	15	183	147	3	150	315	18	333	43
1998年	第18回大会	173	16	189	165	3	168	338	19	357	43
1999年	第19回大会	165	15	180	134	3	137	299	18	317	42
2000年	第20回記念大会	172	16	188	136	4	140	308	20	328	40
2001年	第21回大会	162	15	177	122	4	126	284	19	303	40
2002年	第22回大会	162	15	177	123	3	126	285	18	303	41
2003年	第23回大会	161	12	173	104	6	110	265	18	283	37
2004年	第24回大会	131	11	142	101	4	105	232	15	247	39
2005年	第25回大会	123	14	137	103	2	105	226	16	242	39
2006年	第26回大会	146	13	159	83	2	85	229	15	244	39
2007年	第27回大会	128	12	140	73	3	76	201	15	216	36
2008年	第28回大会	136	14	150	76	2	78	212	16	228	38
2009年	第29回大会	136	11	147	66	2	68	202	13	215	37
2010年	第30回記念大会	144	13	157	81	2	83	225	15	240	37
2011年	第31回大会	128	7	135	68	3	71	196	10	206	37
2012年	第32回大会	134	7	141	64	5	69	198	12	210	37
2013年	第33回大会	131	10	141	55	4	59	186	14	200	37
2014年	第34回大会	128	11	139	49	3	52	177	14	191	32
2015年	第35回大会	133	12	145	43	2	45	176	14	190	32
2016年	第36回大会	141	11	152	33	1	34	174	12	186	31
2017年	第37回大会※	127	7	134	33	2	35	160	9	169	31
2018年	第38回大会	130	10	140	37	1	38	167	11	178	29
2019年	第39回大会	111	11	122	37	3	40	148	14	162	29
2020年	2020大会	73	4	77	20	2	22	93	6	99	23
2021年	第40回記念大会	94	9	103	23	1	24	117	10	127	26
2022年	第41回大会	101	10	111	20	2	22	121	12	133	30
2023年	第42回大会	98	14	112	31	2	33	129	16	145	29
大会合計		5,604	470	6,074	3,438	113	3,551	9,042	583	9,625	

※第37回大会は悪天候により、レース中止

年／大会		海 外									海外 参加 国数
		ハーフマラソン			マラソン			合計			
		男	女	小計	男	女	小計	男	女		
1981年	第 1 回大会	38	5	43			0	38	5	43	13
1982年	第 2 回大会	24	3	27			0	24	3	27	12
1983年	第 3 回大会	14	1	15	14	2	16	28	3	31	13
1984年	第 4 回大会	25	3	28	26	6	32	51	9	60	21
1985年	第 5 回大会	33	5	38	20	1	21	53	6	59	19
1986年	第 6 回大会	24	3	27	20	3	23	44	6	50	18
1987年	第 7 回大会	22	3	25	25	4	29	47	7	54	19
1988年	第 8 回大会	44	14	58	31	2	33	75	16	91	30
1989年	第 9 回大会	30	14	44	34	2	36	64	16	80	24
1990年	第10回記念大会	43	17	60	65	6	71	108	23	131	36
1991年	第11回大会	43	8	51	38	3	41	81	11	92	32
1992年	第12回大会	33	7	40	26	2	28	59	9	68	29
1993年	第13回大会	43	3	46	32	3	35	75	6	81	31
1994年	第14回大会	26	5	31	17	2	19	43	7	50	26
1995年	第15回大会	39	10	49	31	3	34	70	13	83	41
1996年	第16回大会	33	8	41	30	2	32	63	10	73	32
1997年	第17回大会	40	8	48	46	6	52	86	14	100	27
1998年	第18回大会	31	9	40	32	5	37	63	14	77	26
1999年	第19回大会	31	3	34	30	1	31	61	4	65	25
2000年	第20回記念大会	47	7	54	28	7	35	75	14	89	29
2001年	第21回大会	49	6	55	46	8	54	95	14	109	27
2002年	第22回大会	26	5	31	33	3	36	59	8	67	26
2003年	第23回大会	21	3	24	36	5	41	57	8	65	19
2004年	第24回大会	24	8	32	36	4	40	60	12	72	17
2005年	第25回大会	26	9	35	40	3	43	66	12	78	19
2006年	第26回大会	16	5	21	24	4	28	40	9	49	15
2007年	第27回大会	14	2	16	25	4	29	39	6	45	14
2008年	第28回大会	15	1	16	30	7	37	45	8	53	14
2009年	第29回大会	16	2	18	28	3	31	44	5	49	15
2010年	第30回記念大会	22	3	25	38	4	42	60	7	67	19
2011年	第31回大会	16	2	18	32	5	37	48	7	55	15
2012年	第32回大会	12	2	14	24	3	27	36	5	41	13
2013年	第33回大会	12	3	15	27	5	32	39	8	47	15
2014年	第34回大会	8	5	13	25	4	29	33	9	42	13
2015年	第35回大会	8	2	10	27	5	32	35	7	42	14
2016年	第36回大会	19	2	21	19	4	23	38	6	44	14
2017年	第37回大会※	14	7	21	25	9	34	39	16	55	15
2018年	第38回大会	13	2	15	23	7	30	36	9	45	15
2019年	第39回大会	7	1	8	34	6	40	41	7	48	18
2020年	2020大会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
2021年	第40回記念大会	1	0	1	2	1	3	3	1	4	3
2022年	第41回大会	6	0	6	16	3	19	22	3	25	12
2023年	第42回大会	13	2	15	23	7	30	36	9	45	15
大会合計		1,031	208	1,229	1,158	164	1,322	2,179	372	2,551	

※第37回大会は悪天候により、レース中止

年／大会		合 計										協賛 スポン サー
		ハーフマラソン			マラソン			合計			参加 国数	
		男	女	小計	男	女	小計	男	女			
1981年	第 1 回大会	110	7	117	0	0	0	110	7	117	14	3 (3)
1982年	第 2 回大会	110	8	118	0	0	0	110	8	118	13	1 (0)
1983年	第 3 回大会	56	5	61	54	3	57	110	8	118	14	1 (0)
1984年	第 4 回大会	85	5	90	67	9	76	152	14	166	22	4 (3)
1985年	第 5 回大会	112	7	119	64	2	66	176	9	185	20	4 (1)
1986年	第 6 回大会	115	8	123	69	5	74	184	13	197	19	2 (0)
1987年	第 7 回大会	106	7	113	91	7	98	197	14	211	20	3 (0)
1988年	第 8 回大会	145	21	166	102	3	105	247	24	271	31	9 (5)
1989年	第 9 回大会	147	27	174	126	4	130	273	31	304	25	6 (0)
1990年	第10回記念大会	198	37	235	195	11	206	393	48	441	37	13 (7)
1991年	第11回大会	216	27	243	168	8	176	384	35	419	33	17 (4)
1992年	第12回大会	232	30	262	162	6	168	394	36	430	30	17 (0)
1993年	第13回大会	226	18	244	175	6	181	401	24	425	32	18 (2)
1994年	第14回大会	212	19	231	165	6	171	377	25	402	27	18 (1)
1995年	第15回大会	215	20	235	192	6	198	407	26	433	42	20 (2)
1996年	第16回大会	197	18	215	190	4	194	387	22	409	33	22 (2)
1997年	第17回大会	208	23	231	193	9	202	401	32	433	28	22 (2)
1998年	第18回大会	204	25	229	197	8	205	401	33	434	27	21 (0)
1999年	第19回大会	196	18	214	164	4	168	360	22	382	26	22 (1)
2000年	第20回記念大会	219	23	242	164	11	175	383	34	417	30	24 (1)
2001年	第21回大会	211	21	232	168	12	180	379	33	412	28	24 (1)
2002年	第22回大会	188	20	208	156	6	162	344	26	370	27	22 (0)
2003年	第23回大会	182	15	197	140	11	151	322	26	348	20	19 (0)
2004年	第24回大会	155	19	174	137	8	145	292	27	319	18	16 (0)
2005年	第25回大会	149	23	172	143	5	148	292	28	320	20	16 (2)
2006年	第26回大会	162	18	180	107	6	113	269	24	293	16	17 (3)
2007年	第27回大会	142	14	156	98	7	105	240	21	261	15	17 (1)
2008年	第28回大会	151	15	166	106	9	115	257	24	281	15	18 (1)
2009年	第29回大会	152	13	165	94	5	99	246	18	264	16	14 (0)
2010年	第30回記念大会	166	16	182	119	6	125	285	22	307	20	18 (4)
2011年	第31回大会	144	9	153	100	8	108	244	17	261	16	17 (0)
2012年	第32回大会	146	9	155	88	8	96	234	17	251	14	17 (1)
2013年	第33回大会	143	13	156	82	9	91	225	22	247	16	17 (0)
2014年	第34回大会	136	16	152	74	7	81	210	23	233	14	19 (2)
2015年	第35回大会	141	14	155	70	7	77	211	21	232	15	22 (3)
2016年	第36回大会	160	13	173	52	5	57	212	18	230	15	26 (5)
2017年	第37回大会※	141	14	155	58	11	69	199	25	224	16	26 (2)
2018年	第38回大会	143	12	155	60	8	68	203	20	223	16	33 (10)
2019年	第39回大会	118	12	130	71	9	80	189	21	210	19	36 (7)
2020年	2020大会	73	4	77	20	2	22	93	6	99	1	31 (1)
2021年	第40回記念大会	95	9	104	25	2	27	120	11	131	4	40 (7)
2022年	第41回大会	107	10	117	36	5	41	143	15	158	13	45 (7)
2023年	第42回大会	111	16	127	54	9	63	165	25	190	16	51 (9)
大会合計		6,625	678	7,303	4,596	277	4,873	11,221	955	12,176		※(うち新規)

※第37回大会は悪天候により、レース中止

歴代優勝者とその記録

★世界記録 *大会記録

	マラソン				ハーフマラソン			
	男		女		男		女	
	総合優勝	国内1位	総合優勝	国内1位	総合優勝	国内1位	総合優勝	国内1位
第1回	— — —	— — —	— — —	— — —	ゲオルグ・フロイント オーストリア 1° 01' 46"	宇田津 幸男 大阪府 1° 12' 42"	マーシャ・ビバード アメリカ 1° 21' 43"	中村 広美 鹿児島県 1° 45' 20"
第2回	— — —	— — —	— — —	— — —	リック・ハンセン カナダ 58' 30"	松井 順一 長野県 1° 08' 05"	モニカ・ベテルストロム スウェーデン 1° 13' 26"	坂元 りつ子 大阪府 1° 35' 56"
第3回	グルコル・ゴロンバック 西ドイツ 2° 07' 54"	山本 行文 大分県 2° 22' 20"	キャンディス・ケープル アメリカ 2° 35' 48"	— — —	ポール・ファン・ウィンケル ベルギー 1° 05' 24"	永尾 嘉章 兵庫県 1° 17' 57"	幸塚 直子 石川県 1° 27' 53"	— — —
第4回	アンドレ・ヴィジェ カナダ 1° 48' 25"	山本 行文 大分県 2° 00' 47"	キャンディス・ケープル アメリカ 2° 21' 09"	幸塚 直子 石川県 2° 38' 14"	メジャリ・アル・オタビ クウェート 58' 33"	永尾 嘉章 兵庫県 1° 06' 33"	ピン・チョー 香港 1° 21' 28"	岩田 いつ子 愛知県 1° 27' 24"
第5回	アンドレ・ヴィジェ カナダ 1° 49' 46"	山本 行文 大分県 2° 00' 48"	ガブリエル・シルト スイス 2° 46' 42"	— — —	クリス・ワグネル メキシコ 59' 39"	宮居 昌彦 和歌山県 1° 07' 36"	シャロン・フレネット アメリカ 1° 14' 58"	多智 利枝 東京都 1° 24' 35"
第6回	アンドレ・ヴィジェ カナダ 1° 45' 36"	山本 行文 熊本県 1° 50' 05"	アンジェラ・イレティ カナダ 1° 58' 51"	多智 利枝 東京都 3° 02' 16"	林 誠二 大阪府 1° 00' 47"	— — —	カレン・ウィルソン イギリス 1° 20' 38"	岩田 いつ子 愛知県 1° 22' 51"
第7回	アンドレ・ヴィジェ カナダ 1° 44' 18"	山本 行文 熊本県 1° 53' 36"	アンジェラ・イレティ カナダ 2° 04' 31"	岩田 いつ子 愛知県 2° 42' 22"	サウル・メンドーサ メキシコ 56' 20"	伊藤 平太 佐賀県 1° 02' 16"	坂内 留美 東京都 1° 19' 09"	— — —
第8回	ポール・クラーク カナダ 1° 38' 27"	山本 行文 熊本県 1° 42' 42"	コニー・ハンセン デンマーク 2° 05' 28"	— — —	マヌエル・カサス メキシコ 55' 22"	竹村 克明 埼玉県 1° 04' 06"	イグナツ・オリツィン デンマーク 1° 09' 20"	坂内 留美 東京都 1° 15' 40"
第9回	ムスタファ・パディ フランス 1° 40' 45"	山本 行文 熊本県 1° 43' 21"	ジャネット・ジャンセン オランダ 1° 48' 45"	坂内 留美 東京都 2° 49' 09"	ラジャ・シン シンガポール 52' 58"	山田 和宏 岡山県 1° 01' 58"	イグナツ・オリツィン デンマーク 58' 57"	畑中 和 兵庫県 1° 06' 45"
第10回	ハインツ・フライ スイス 1° 39' 35"	山口 悟志 大阪府 1° 47' 07"	ジャネット・ジャンセン オランダ 1° 47' 09"	長谷川 尚美 兵庫県 1° 51' 31"	ロベルト・フィグル ドイツ 48' 26"	須田 伸太郎 山形県 57' 06"	ディアンナ・ソドマ アメリカ 1° 00' 03"	伊藤 由美 東京都 1° 07' 10"
第11回	ハインツ・フライ スイス 1° 35' 46"	川島 誉 和歌山県 1° 45' 44"	コニー・ハンセン デンマーク 1° 47' 45"	畑中 和 兵庫県 2° 02' 10"	サウル・メンドーサ メキシコ 49' 42"	中田 達也 京都府 55' 19"	イグナツ・オリツィン デンマーク 1° 01' 54"	伊藤 由美 東京都 1° 07' 49"
第12回	クーリッ・スチャポート 南アフリカ 1° 35' 47"	山本 行文 熊本県 1° 43' 29"	リリー・アングレニー ドイツ 1° 48' 35"	畑中 和 兵庫県 1° 54' 28"	ジェイク・ヘルヴェイル アメリカ 53' 47"	山見 誠治 福岡県 53' 47"	モニカ・ベテルストロム スウェーデン 57' 06"	藤原 志保 静岡県 1° 06' 24"
第13回	ハインツ・フライ スイス 1° 34' 35"	中村 博之 大阪府 1° 39' 56"	モニカ・ベテルストロム スウェーデン 1° 52' 06"	畑中 和 兵庫県 1° 56' 34"	ホルヘ・ルヤ・セバダ メキシコ 47' 04"	野沢 英二 青森県 50' 32"	南野 教子 — — —	— — —
第14回	ハインツ・フライ スイス 1° 30' 54"	室塚 一也 北海道 1° 39' 09"	ジャンタル・ブイクレー カナダ 2° 01' 58"	南野 教子 福岡県 2° 27' 35"	ジム・C・マーティンソン アメリカ 48' 07"	野沢 英二 青森県 53' 05"	ドラ・ガリア・エストラダ メキシコ 1° 05' 14"	藤原 志保 静岡県 1° 07' 52"
第15回	ハインツ・フライ スイス 1° 22' 38"	室塚 一也 北海道 1° 30' 54"	畑中 和 兵庫県 1° 44' 36"	— — —	エリック・ナイツェル アメリカ 46' 32"	野沢 英二 青森県 49' 59"	コニー・ハンセン デンマーク 55' 19"	櫻田 陽子 神奈川県 59' 05"
第16回	ハインツ・フライ スイス 1° 24' 24"	廣道 純 兵庫県 1° 31' 12"	ルース・サヴァージュ オーストラリア 1° 45' 03"	畑中 和 兵庫県 1° 48' 08"	エリック・ナイツェル アメリカ 47' 12"	西田 聡 長崎県 47' 16"	土田 和歌子 東京都 55' 30"	— — —
第17回	ハインツ・フライ スイス 1° 24' 49"	室塚 一也 北海道 1° 31' 34"	畑中 和 兵庫県 1° 39' 40"	— — —	アロン・ゴルディア メキシコ 45' 57"	野沢 英二 青森県 51' 41"	奥山 京子 山形県 54' 40"	— — —
第18回	ハインツ・フライ スイス 1° 26' 55"	室塚 一也 北海道 1° 34' 51"	モニカ・ベテルストロム スウェーデン 1° 51' 36"	土田 和歌子 東京都 1° 56' 34"	エクトル・エルナンデス メキシコ 46' 37"	渡辺 幹司 大分県 46' 40"	リアデン・エルナンデス メキシコ 56' 16"	高良 依子 沖縄県 1° 00' 01"
第19回	ハインツ・フライ スイス 1° 20' 14"	室塚 一也 北海道 1° 31' 55"	畑中 和 兵庫県 1° 44' 31"	— — —	藤川 泰博 兵庫県 46' 50"	— — —	グニラ・ワングレン スウェーデン 51' 30"	川島 由美 愛知県 57' 09"
第20回	ハインツ・フライ スイス 1° 22' 03"	室塚 一也 北海道 1° 30' 32"	畑中 和 兵庫県 1° 42' 53"	— — —	エクトル・エルナンデス メキシコ 46' 40"	藤田 英二 山口県 46' 41"	土田 和歌子 東京都 *49' 36"	— — —
第21回	ハインツ・フライ スイス 1° 22' 20"	廣道 純 大分県 1° 29' 38"	土田 和歌子 東京都 1° 38' 32"	— — —	渡辺 習輔 大分県 45' 01"	— — —	長澤 麻子 山梨県 1° 02' 16"	— — —
第22回	ハインツ・フライ スイス 1° 25' 46"	廣道 純 大分県 1° 30' 20"	土田 和歌子 東京都 1° 44' 39"	— — —	ポール・ナナリー オーストラリア 47' 04"	寒川 進 京都府 47' 05"	ジェニー・ルンダブラッド スウェーデン 58' 03"	小峯 直美 愛知県 1° 03' 30"
第23回	ジョエル・ジャノ フランス 1° 25' 43"	カソガル・ガラソーク 大分県 1° 29' 59"	土田 和歌子 東京都 1° 40' 01"	— — —	渡辺 習輔 大分県 44' 37"	— — —	ジェニー・ルンダブラッド スウェーデン 1° 00' 59"	小峯 直美 愛知県 1° 03' 16"

歴代優勝者とその記録

マラソン

★世界記録 *大会記録

	男子			女子			国内1位
	T51	T52	T53/54	T51	T52	T53/54	
第24回	完走者なし	吉本 茂 長野県 2° 04' 07"	エルスト・ヴァン ダイク 南アフリカ 1° 28' 03"	出走者なし	リサ・マリー・フランス カナダ 2° 10' 27"	ダイアン・ロイ カナダ 1° 52' 25"	笹原 廣喜 大分県 1° 28' 31"
第25回	ステファン・ストローベル ドイツ 2° 39' 46"	伊藤 智也 三重県 2° 00' 02"	エルスト・ヴァン ダイク 南アフリカ 1° 26' 37"	出走者なし	八巻 智美 福島県 2° 19' 36"	ダイアン・ロイ カナダ 1° 46' 07"	笹原 廣喜 大分県 1° 26' 41"
第26回	ステファン・ストローベル ドイツ 2° 36' 24"	伊藤 智也 三重県 1° 52' 36"	笹原 廣喜 大分県 1° 24' 15"	出走者なし	八巻 智美 福島県 2° 17' 49"	畑中 和 兵庫県 1° 39' 28"	笹原 廣喜 大分県 1° 24' 15"
第27回	ハインリッヒ・クーペル ドイツ 2° 40' 09"	サンティアゴ・サンツ スペイン * 1° 43' 46"	エルスト・ヴァン ダイク 南アフリカ 1° 23' 22"	出走者なし	八巻 智美 福島県 2° 09' 50"	土田 和歌子 東京都 1° 38' 55"	山本 浩之 福岡県 1° 23' 22"
第28回	完走者なし	上与那原 寛和 沖縄県 1° 47' 17"	ハインツ・フライ スイス 1° 26' 06"	出走者なし	八巻 智美 福島県 ★ 2° 07' 28"	アマンダ・マクグローリー アメリカ 1° 43' 33"	副島 正純 福岡県 1° 27' 36"
第29回	完走者なし	サンティアゴ・サンツ スペイン 1° 47' 37"	ハインツ・フライ スイス 1° 25' 46"	出走者なし	ミシェル・ステイウェル カナダ 2° 21' 16"	土田 和歌子 東京都 1° 39' 35"	山本 浩之 福岡県 1° 26' 12"

	男子			女子			国内1位
	T51	T33/52	T34/53/54	T51	T33/52	T34/53/54	
第30回	ステファン・ストローベル ドイツ 2° 32' 36"	上与那原 寛和 沖縄県 1° 50' 22"	マルセル・フグ スイス 1° 23' 28"	出走者なし	ミシェル・ステイウェル カナダ 2° 30' 52"	アマンダ・マクグローリー アメリカ 1° 44' 38"	洞ノ上 浩太 福岡県 1° 23' 30"
第31回	完走者なし	サンティアゴ・サンツ スペイン 1° 50' 25"	マルセル・フグ スイス 1° 24' 55"	出走者なし	出走者なし	サンドラ・グラフ スイス 1° 45' 37"	樋口 政幸 長野県 1° 24' 55"
第32回	井上 聡 愛媛県 2° 59' 13"	高田 稔浩 福井県 2° 00' 05"	マルセル・フグ スイス 1° 25' 08"	出走者なし	出走者なし	土田 和歌子 東京都 1° 43' 10"	山本 浩之 福岡県 1° 30' 09"
第33回	ステファン・ストローベル ドイツ 2° 37' 15"	サンティアゴ・サンツ スペイン 1° 46' 09"	マルセル・フグ スイス 1° 23' 49"	出走者なし	出走者なし	マニエラ・シャース スイス 1° 38' 07"	山本 浩之 福岡県 1° 28' 38"
第34回	完走者なし	サンティアゴ・サンツ スペイン 1° 47' 29"	マルセル・フグ スイス 1° 21' 40"	出走者なし	出走者なし	マニエラ・シャース スイス 1° 38' 42"	山本 浩之 福岡県 1° 28' 27"
第35回	ピーター・ドウ・プレア 南アフリカ 2° 39' 52"	サンティアゴ・サンツ スペイン 1° 48' 01"	マルセル・フグ スイス 1° 24' 53"	出走者なし	出走者なし	マニエラ・シャース スイス 1° 40' 46"	山本 浩之 福岡県 1° 25' 15"
第36回	ピーター・ドウ・プレア 南アフリカ 2° 30' 53"	佐藤 友祈 岡山県 1° 49' 32"	山本 浩之 福岡県 1° 26' 02"	出走者なし	出走者なし	喜納 翼 沖縄県 1° 44' 56"	山本 浩之 福岡県 1° 26' 02"
第37回	悪天候により、レース中止						
第38回	ピーター・ドウ・プレア 南アフリカ 2° 37' 06"	佐藤 友祈 岡山県 1° 47' 57"	マルセル・フグ スイス 1° 23' 59"	出走者なし	出走者なし	喜納 翼 沖縄県 1° 39' 36"	鈴木 朋樹 千葉県 1° 24' 00"
第39回	ピーター・ドウ・プレア 南アフリカ 2° 27' 07"	上与那原 寛和 沖縄県 1° 53' 04"	マルセル・フグ スイス 1° 22' 51"	出走者なし	出走者なし	マニエラ・シャース スイス 1° 35' 42"	鈴木 朋樹 東京都 1° 22' 55"
2020	出走者なし	佐藤 友祈 岡山県 1° 49' 29"	鈴木 朋樹 東京都 1° 22' 02"	出走者なし	出走者なし	土田 和歌子 東京都 1° 39' 42"	鈴木 朋樹 東京都 1° 22' 02"
第40回	ピーター・ドウ・プレア 南アフリカ 2° 34' 30"	佐藤 友祈 岡山県 1° 50' 19"	マルセル・フグ スイス ★ 1° 17' 47"	出走者なし	出走者なし	喜納 翼 沖縄県 1° 40' 13"	鈴木 朋樹 東京都 1° 18' 37"
第41回	ピーター・ドウ・プレア 南アフリカ * 2° 22' 33"	佐藤 友祈 岡山県 1° 49' 57"	マルセル・フグ スイス 1° 21' 10"	出走者なし	出走者なし	土田 和歌子 東京都 1° 37' 59"	鈴木 朋樹 埼玉県 1° 24' 44"
第42回	ピーター・ドウ・プレア 南アフリカ 2° 31' 07"	上与那原 寛和 沖縄県 1° 54' 30"	マルセル・フグ スイス 1° 17' 51"	出走者なし	出走者なし	カテリーヌ・デルナー スイス 1° 35' 11"	鈴木 朋樹 埼玉県 1° 23' 58"

歴代優勝者とその記録

ハーフマラソン

*大会記録

	男子			女子		
	T 51	T 52	T 53/54	T 51	T 52	T 53/54
第24回	濱添 要 大分県 1° 49' 31"	吉野 真旨 兵庫県 1° 07' 04"	渡辺 習輔 大分県 46' 05"	出走者なし	クリステン・メサー アメリカ 2° 07' 16"	川島 由美 兵庫県 54' 33"
第25回	濱添 要 長崎県 1° 34' 05"	森島 英樹 兵庫県 1° 11' 16"	渡辺 習輔 大分県 47' 17"	完走者なし	要田 美紀 東京都 1° 16' 16"	川島 由美 兵庫県 54' 56"
第26回	濱添 要 長崎県 1° 32' 51"	上与那原 寛和 沖縄県 53' 59"	吉田 高志 大分県 45' 06"	完走者なし	要田 美紀 東京都 1° 13' 29"	リユー・ウェン・ユン 中国 53' 55"
第27回	濱添 要 長崎県 1° 32' 56"	森島 英樹 兵庫県 1° 05' 53"	吉田 高志 大分県 45' 24"	完走者なし	佐藤 由加 岡山県 1° 12' 57"	宮本 美紀 岡山県 1° 00' 55"
第28回	濱添 要 長崎県 1° 36' 26"	浜上 悟 石川県 1° 04' 00"	渡辺 習輔 大分県 46' 51"	完走者なし	佐藤 由加 岡山県 1° 12' 37"	高峯 瑞喜 東京都 1° 02' 12"
第29回	濱添 要 長崎県 1° 36' 29"	松本 直幸 福岡県 1° 07' 38"	西原 宏明 京都府 45' 21"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 11' 58"	リユー・ウェン・ユン 中国 55' 17"

	男子			女子			新人賞
	T 51	T 33/52	T 34/53/54	T 51	T 33/52	T 34/53/54	
第30回	濱添 要 長崎県 1° 31' 31"	佐藤 仁志 岡山県 1° 10' 14"	渡辺 習輔 大分県 45' 11"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 12' 11"	マニユエラ・シャー スイス 54' 33"	
第31回	ケビン・ストークス アメリカ 1° 30' 46"	デュアン・モロー アメリカ 1° 06' 31"	リチャード・コールマン オーストラリア 48' 10"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 10' 16"	マニユエラ・シャー スイス 56' 58"	
第32回	長崎 裕也 東京都 1° 36' 01"	野田 昭和 鳥取県 56' 49"	佐矢野 利明 大分県 46' 46"	出走者なし	木山 由加 岡山県 * 1° 08' 10"	ローズマリー・リトル オーストラリア 57' 22"	
第33回	平山 健悟 福岡県 1° 44' 42"	野田 昭和 鳥取県 55' 41"	ピエール・フェアパンク フランス 45' 05"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 10' 10"	ローズマリー・リトル オーストラリア 58' 44"	渡辺 勝 福岡県 46' 10"
第34回	清田 慎也 熊本県 1° 37' 40"	佐藤 友祈 静岡県 53' 10"	松永 仁志 岡山県 46' 35"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 09' 54"	ローズマリー・リトル オーストラリア 53' 11"	河室 隆一 大分県 50' 33"
第35回	清田 慎也 熊本県 1° 28' 53"	野田 昭和 鳥取県 53' 41"	渡辺 勝 福岡県 47' 32"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 12' 54"	中山 和美 神奈川県 53' 11"	田中 祥隆 福岡県 52' 29"
第36回	エルネスト・フォンセカ コスタリカ 1° 25' 11"	野田 昭和 鳥取県 56' 44"	渡辺 勝 福岡県 43' 46"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 11' 14"	リユー・ウェン・ユン 中国 52' 05"	武村 浩生 福岡県 50' 52"
第37回	悪天候により、レース中止						
第38回	清田 慎也 熊本県 * 1° 24' 48"	野田 昭和 鳥取県 53' 50"	百武 強士 佐賀県 46' 11"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 11' 52"	中山 和美 神奈川県 52' 59"	生馬 知季 岡山県 46' 21"
第39回	井上 聡 愛媛県 1° 27' 22"	野田 昭和 鳥取県 55' 46"	サミュエル・リゾ オーストラリア 46' 35"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 17' 49"	見崎 真未 熊本県 1° 15' 37"	岸澤 宏樹 大阪府 48' 31"
2020	出走者なし	伊藤 竜也 福井県 57' 48"	久保 恒造 北海道 43' 42"	出走者なし	片平 留依 福岡県 1° 45' 35"	安川 祐里香 沖縄県 57' 36"	仲泊 厚志 沖縄県 49' 01"
第40回	出走者なし	伊藤 竜也 福井県 56' 00"	生馬 知季 岡山県 44' 43"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 16' 33"	安川 祐里香 沖縄県 58' 22"	
第41回	清田 慎也 熊本県 1° 31' 48"	伊藤 竜也 福井県 55' 54"	生馬 知季 岡山県 45' 32"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 19' 59"	村岡 桃佳 岡山県 54' 10"	
第42回	長崎 裕也 東京都 1° 42' 09"	伊藤 竜也 福井県 * 52' 47"	生馬 知季 岡山県 * 43' 05"	出走者なし	田中 照代 愛知県 1° 15' 15"	村岡 桃佳 岡山県 * 52' 01"	

協力者名簿

大分県警察本部交通部交通規制課
大分中央警察署
陸上自衛隊第41普通科連隊
国立別府重度障害者センター
株式会社レンブラントホテル大分
大分土木事務所

大分県共同募金会
大分県信用組合
株式会社トキハ
千代田商事株式会社
大分航空ターミナル株式会社
サントリーホールディングス株式会社
近藤 晴彦

大分国際車いすマラソン通訳ボランティア Can-do
オムロン太陽株式会社
本田技研労働組合
株式会社デンソー
新日本製菓株式会社
九州電力株式会社
九州電力送配電株式会社
株式会社九電ハイテック
大分キャノン株式会社
ジブラルタ生命保険株式会社
全日本空輸株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
鬼塚電気工事株式会社
西日本電信電話株式会社
株式会社ブンゴヤ薬局
大分県信用金庫県庁内支店
大分みらい信用金庫
大分航空ターミナル株式会社
連合大分中部地域協議会
大分リハビリテーション専門学校
楊志館高等学校

社会医療法人恵愛会大分中村病院
大分市医師会立アルメイダ病院
別府医療センター
新別府病院

大分市営陸上競技場
国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所
大分地方方法務局
平和市民公園（大分市公園緑地課）
大分県立舞鶴高等学校
大分県駐車場運営委員会

大分県警察本部交通部交通機動隊
大分東警察署
大分市交通指導員連合会
大分県パラスポーツ指導者協議会
株式会社大分センチュリーホテル

大分みらい信用金庫
日本製鉄株式会社九州製鉄所
株式会社豊和銀行
九州労働金庫
株式会社中津レンタリース
レゾナック・ホールディングス株式会社

オムロン株式会社
ソニーグループ株式会社
三菱商事株式会社
株式会社富士通エフサス
株式会社大分銀行
株式会社九電工
株式会社九電送配サービス
トランスコスモス株式会社
大分キャノンマテリアル株式会社
清水建設株式会社
全国共済農業協同組合連合会
第一生命保険株式会社
株式会社コンカー
社会福祉法人わかば会 清流の郷
明治安田生命
千代田商事株式会社
有限会社アズメディック
大分県ボランティア・市民活動センター
大分東明高等学校
学校法人大原学園
障がい者スポーツサポーターの皆さま

医療法人社団唱和会明野中央病院
日本赤十字社大分県支部
国立病院機構大分医療センター

国土交通省九州運輸局大分運輸支局
大分地方検察庁
別府市下水道課
大分県身体障害者福祉センター
大分市営温水プール
王子マテリア株式会社

大和リース株式会社
 ダイワ運輸株式会社
 ディスカウントドラッグコスモス王子港町店
 セブンイレブン大分中島中央店
 ローソン大分王子町店
 大分県立新生支援学校
 社会福祉法人新友会
 社会福祉法人アップルメント

株式会社きんでん
 明星国際ビューティカレッジ
 セブンイレブン大分日岡3丁目店
 ローソン大津町1丁目店
 一般社団法人大分県医師会
 大分県のぞみ園
 社会福祉法人法治会

一般社団法人大分県バス協会
 社団法人大分県個人タクシー協会
 大分市タクシー協会
 大分交通株式会社

一般社団法人大分県タクシー協会
 公益社団法人大分県トラック協会
 大分バス株式会社
 株式会社シティタクシーホールディングス

有限会社大分タキ
 株式会社ミキ

日進医療器株式会社
 株式会社オーエックスエンジニアリング

三菱商事太陽株式会社
 一番運輸株式会社

小川 清美

その他、沿道住民・沿線企業・学校・施設ほか大会前後や当日にご協力いただいたボランティア等（以上順不同、敬称略）皆さまのおかげをもちまして第42回大分国際車いすマラソンを開催することができました。
 厚くお礼を申し上げます。

第42回大分国際車いすマラソン事務局名簿

大会実行委員長	工藤 哲史		
大会事務局長	高木 広之		
事務局次長	新 泰徳	副主幹（主担当）	阿部 友輝
室長補佐（開会式）	小代 哲也	主査（交歓のタベ）	伊見 英俊
主査（コース）	大畑 有輝	主任（スタート副・アシスト）	河野 圭祐
主任（医務・競技場副）	小林 智徳	主任（競技運営）	佐久間祐美
主事（スタート・記録）	岩田 優里	非常勤（競技場副）	浜田志名子
主任（競技場・閉会式）	長野 修三	主任書記（選手・FCA）	佐藤 由紀
主事（選手受付）	三ノ宮 淳	主事（車両）	島田 圭子
事務補助	松田 悠依		

第42回大分国際車いすマラソン 記念誌

企画編集 大分国際車いすマラソン事務局
(大分県福祉保健部障害者社会参加推進室)
<https://kurumaisu-marathon.com>
TEL 097-533-6006
FAX 097-506-1736

印刷所 株式会社 佐伯コミュニケーションズ
TEL 097-543-1211

Platinum Partner

OMRON

SONY

HONDA

三菱商事

DENSO

FUJITSU 富士通エフサス

新日本製薬

一般社団法人
中村裕バラスポーツサポートミーティング
Yutaka Nakamura Parasports Support Meeting

Official Partner

大分銀行

九電工

FUJITSU

Canon

SHIPS

Gibraltar
ジブラルタ生命

清水建設

公益社団法人
大分県薬剤師会
Oita Pharmaceutical Association

マルミヤストア

ANA

JA共済

不動産の総合デパート
別大興産

東京海上日動
TOKIO MARINE
NICHIDO

一生涯のパートナー
第一生命
Dai-ichi Life Group

鬼塚電気工事

phiten

SAP Concur

日本郵便
POST

YAHOO!
JAPAN

NTT西日本

障害者支援施設
清流の郷

AUTOBACS SEVEN

ブンゴヤヘルス・ケア
ブンゴヤ薬局グループ

日本赤十字社 大分県支部
Japanese Red Cross Society

SUZUKI CO.,LTD.

新星工業株式会社

DAITETSU

trans
cosmos
people & technology

YASKAWA
安川電機

モリサワ

陽谷苑

第一交通産業
DAIICHI

HOVERDRIVE
FLY TO THE UNKNOWN

梅林建設

YANAI

株式会社 まるひで

大分県プレハブ建築連絡協議会

JTB 感動のそばに、いつも。

創業慶應二年
太田旗店

MIZUHO みずほ銀行

やさしさのための技術がある
H&K 平倉建設

明治安田生命



大分県 公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会 / 一般社団法人日本パラ陸上競技連盟
大分市 大分合同新聞社 / 社会福祉法人大分県社会福祉協議会 / 大分県障がい者スポーツ協会
●本大会は、「赤い羽根共同募金配分金」の助成をいただいています。

